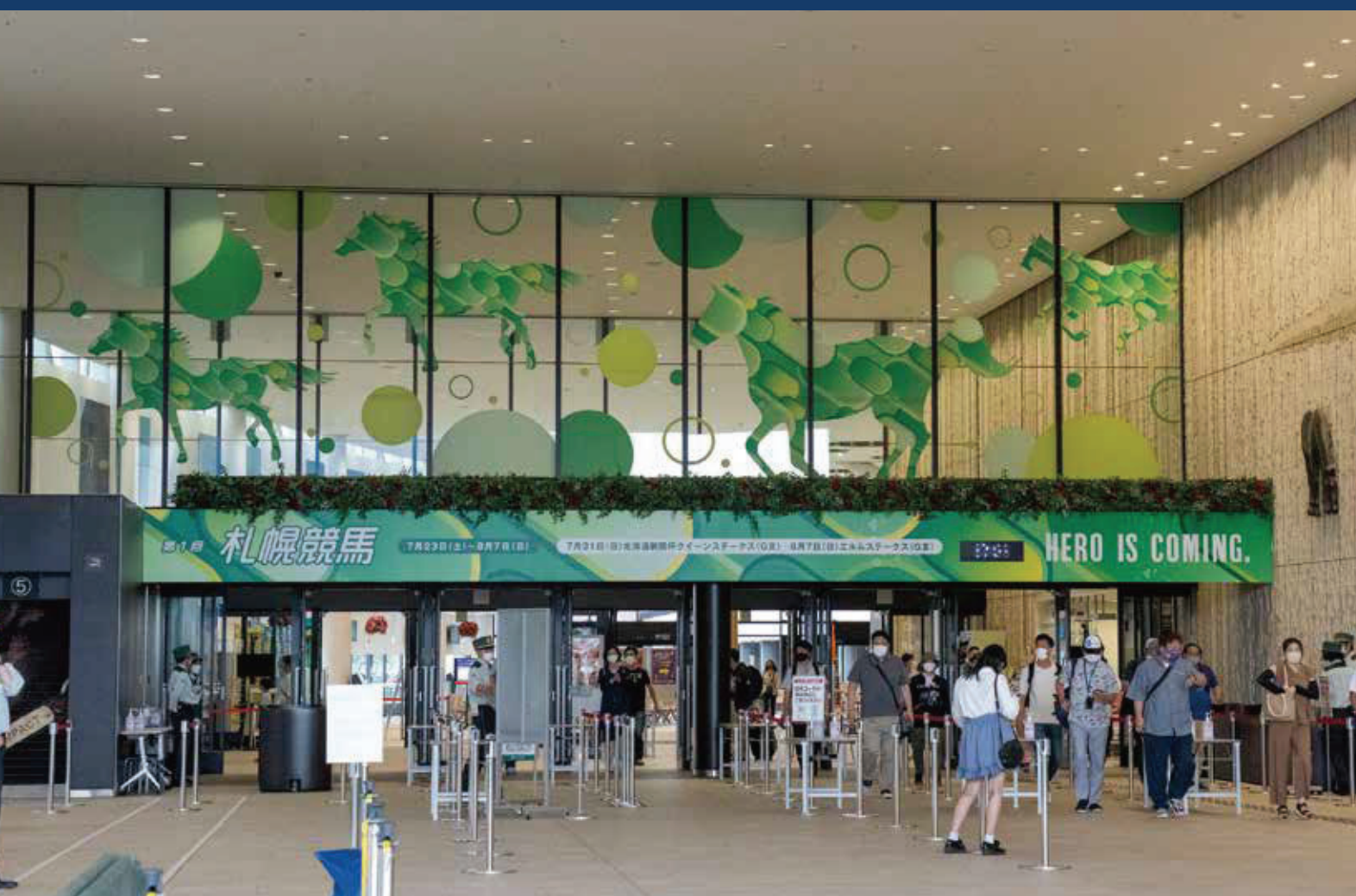


北の蹄跡

August 2022

一般社団法人 札幌馬主協会
「北の蹄跡」(通巻第70号)

令和4年8月1日発行
編集発行人 岡田牧雄
一般社団法人 札幌馬主協会
〒060-0016
札幌市中央区北16条西16丁目1-1
TEL 011(726)0461



10月31日から6月26日までの間にG I (Jpn I) 競走に勝利した
札幌馬主協会会員所有馬をご紹介します。
ここに改めて、関係者のみなさまに心よりお祝い申し上げます。

おめでとうございます Congratulations



タイトルホルダー *Titleholder*

2022年6月26日(日)
阪神競馬場 第11競走
「第63回宝塚記念」

- 馬主/山田弘氏
- 生産牧場/岡田スタッド(新ひだか町)
- 調教師/栗田徹(美浦)
- 騎手/横山和生

菊花賞を5馬身差、そして天皇賞・春を7馬身差で制したタイトルホルダーが、宝塚記念もレコードタイムで制して現役最強を強くアピールしています。山田オーナーにとっては共同出資していたというドララメンテ産駒という意味でも思い入れのある1頭。秋は凱旋門賞への挑戦が明らかにされており、楽しみが広がります。

2018年2月10日生 牡 鹿毛

ドララメンテ 鹿 2012	キングカメハメハ	Kingmambo
	鹿毛 2001	マンファス
メーヴェ 黒鹿 2008	アドマイヤグルーヴ	サンデーサイレンス
	鹿毛 2000	エアグルーヴ
メーヴェ 黒鹿 2008	Motivator	Montjeu
	鹿毛 2002	Out West
	Top Table	Shirley Heights
	鹿毛 1989	Lora's Guest

スターズオンアース *Stars on Earth*

2022年5月22日(日)
東京競馬場 第11競走
「第83回優駿牝馬」

- 馬主/社台レースホース
- 生産牧場/社台ファーム(千歳市)
- 調教師/高柳瑞樹(美浦)
- 騎手/C. ルメール

牝馬クラシック第2弾「優駿牝馬」を制したのは、社台レースホース所有の桜花賞馬スターズオンアースでした。2冠牝馬の誕生は一昨年のデアリングタクト以来2年ぶり16頭目。社台レースホース所有馬のオークス制覇は前記17年以來となります。この日、川田騎手からバトンを受けたC. ルメール騎手は祖母スタセリタの仏オークス、おばソウルスターリングのオークス優勝時にも手綱を取っており、縁深いものを感じる勝利となりました。

2019年2月27日生 牝 黒鹿毛

ドララメンテ 鹿 2012	キングカメハメハ	Kingmambo
	鹿毛 2001	マンファス
サザンスターズ 鹿 2013	アドマイヤグルーヴ	サンデーサイレンス
	鹿毛 2000	エアグルーヴ
サザンスターズ 鹿 2013	Smart Strike	Mr. Prospector
	鹿毛 1992	Classy 'n Smart
	スタセリタ	Monsun
	青鹿毛 2006	Soignee

スターズオンアース *Stars on Earth*

2022年4月10日(日)
阪神競馬場 第11競走
「第82回桜花賞」

- 馬主/社台レースホース
- 生産牧場/社台ファーム(千歳市)
- 調教師/高柳瑞樹(美浦)
- 騎手/川田将雅

1着から10着までが0.3秒差以内にひしめく混戦桜花賞を制したのは社台レースホース所有馬スターズオンアースでした。重賞制覇は昨年12月のチャレンジカップ以来で、G I 制覇は、本馬のおばソウルスターリングによる17年オークス以来となります。父は二冠馬でドバイシーマクラシック2着のドララメンテで、祖母は仏オークス馬。デビューから勝ち運に見放されてきたような競走キャリアでしたが、大舞台で世界的良血が開きました。

2019年2月27日生 牝 黒鹿毛

ドララメンテ 鹿 2012	キングカメハメハ	Kingmambo
	鹿毛 2001	マンファス
サザンスターズ 鹿 2013	アドマイヤグルーヴ	サンデーサイレンス
	鹿毛 2000	エアグルーヴ
サザンスターズ 鹿 2013	Smart Strike	Mr. Prospector
	鹿毛 1992	Classy 'n Smart
	スタセリタ	Monsun
	青鹿毛 2006	Soignee

ナランフレグ *Naran Huleg*

2022年3月27日(日)
中京競馬場 第11競走
「第52回高松宮記念」

- 馬主/村木克成氏
- 生産牧場/坂戸節子(日高町)
- 調教師/宗像義忠(美浦)
- 騎手/丸田恭介

「これまでナランフレグと一緒に戦ってきたメンバー全員で喜ぶたかった」と村木克成オーナー。この勝利は、オーナー、調教師、騎手、そして生産牧場すべてが初のG I タイトル。縁あって、昨年6月にナランフレグを譲り受けた時から「出走できるかどうかはわからないけれども、左回りの1200m戦がベストの舞台なら高松宮記念を目標にしましょう」と周囲を鼓舞し続けたオーナーの思いが、大きな舞台で現実のものとなった瞬間でした。

2016年4月5日生 牡 栗毛

ゴールドアリュール 栗毛 1999	サンデーサイレンス	Halo
	青鹿毛 1986	Wishing Well
ケリーズビューティ 青 2001	ニキヤ	Nureyev
	鹿毛 1993	Reluctant Guest
ケリーズビューティ 青 2001	ブライアンズタイム	Roberto
	黒鹿毛 1985	Kelley's Day
	ビューティークロス	タマモクロス
	栗毛 1991	ミヤマビューティー

2 札幌馬主協会会員所有馬の蹄跡

5 岡田牧雄新会長あいさつ

6 通常総会開催

委員会だより

8 会員懇親会開催

10 お礼の手紙／社会福祉法人ゆあみ会

11 **特集①** 札幌競馬場でトレーニングセール開催16 **コラム** 「22年欧米1歳市場における種牡馬考察」合田直弘氏18 **コラム** 「中央競馬の飽和状態を解決するには」須田鷹雄氏20 **コラム** 「馬上の景色」吉田直哉氏

特別座談会

22 馬産地競馬を盛り上げるために

増田知之氏／越智直弘氏／吉田照哉氏／岡田牧雄氏

宮永雅己氏／木村貢氏／吉澤克己氏

30 **特集②** ジャパンブリーダーズカップ協会のおゆみ

～第1回JBC競走までの道のり

34 JRA新任のごあいさつ

37 道営だより

38 **特集③** 札幌記念GⅠ昇格への道

「古馬GⅠ競走にステップレースは必要か」

42 令和4年度 札幌開催番組紹介

44 編集後記

45 牧場のひとコマ

新会長挨拶

岡田 牧雄



吉田照哉前会長の後を継いで、第7代札幌馬主協会会長を仰せつかりました岡田です。

歴代の会長の方々が創り上げてきた和気あいあいとした楽しい雰囲気づくりを継承しつつ、さらなる発展を目指していく所存です。どうぞよろしくお願いいたします。また、当協会の悲願でもあります「札幌記念のGⅠ昇格」はもちろんです。馬産地競馬という言葉の意味の具現化、そしてキーンランドカップ、エラムステークスなども含めた札幌競馬場で行われる3歳以上馬による重賞競走を国際招待レースとして更なる発展をさせていきたいと考えております。併せてご協力のほどお願い申し上げます。

オリンピックの開催都市でもあります札幌は国際的にも評価が高い観光都市でもあります。また札幌競馬場は札幌市内で有数の集客スタンドを持つ大型のイベント施設であり、その開催時期は季節的にも、他の諸外国との競馬スケジュール的にも国際招待競走を行う上で、最も適したものと考えます。

国際化IIインターナショナルという意味は国同士をつなぐという意味があります。現在、日本の馬たちは米国ブリーダーズカッ

プはじめ、ドバイや香港、サウジアラビアといった国々の国際レースを席巻するほどに強くなりました。彼らが尻込みしないような環境のレースを用意することも必要であると考えます。ワールドオールスタージョッキーズとの同時開催は、国際都市であり、また馬産地競馬の代名詞でもある札幌競馬場の存在意義を高めるものと考えますが、いかがでしょうか。

そして、私たちが日頃から頭を痛めている預託料に関することや、全国の生産者が取り組んでいる「丈夫で強い馬づくり」が最大限に活かされるような競走体系づくりにも着手していきたいと思っております。

また、同じ馬産地に立脚する門別競馬場とのコラボレーションも不可欠と考えます。全国地方競馬場の中でも最大規模を誇る門別競馬場の1周1600mコースは私たちが胸を張れるものであると考えています。厳寒期には開催できないというデメリットも抱えますが、そのコースをホッカイドウ競馬所属馬だけではなく多くの馬たちが利用できるような環境づくりも必要だと考えます。

そして、もう一つ。現在、世界中の競馬開催国が本気で取り組んでいる「馬の福祉」についても正面から取り組んでいかなければならないと考えます。馬産地にある競馬場に引退名馬を繋養し、ファンに還元させていきたいと考えますが、いかがでしょうか。

最後になりましたが、会員のみならずますます健勝であることを祈念しつつ、みなさまの愛馬が納得いくまで活躍できるような環境づくりを進めていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。では、競馬場で会いましょう！



岡田牧雄氏を会長に選任 令和4年 通常総会開催

一般社団法人札幌馬主協会

一般社団法人札幌馬主協会（吉田照哉会長、会員総数242名）は2月24日、第11回通常総会（通算第74回）を京王プラザホテル札幌で開催いたしました。今年も、新型コロナウイルス感染拡大防止対策が施される中での開催となりましたが193名（本人出席21名、委任状提出173名）の方にご参加いただき、粛々とした中で盛況裡に終了させることができました。なお、任期満了に伴う役員改選も行われ、当協会が定める定年制などにより3人の理事が退任。2期4年間会長を務めた吉田会長に代わり、新理事18名の中から岡田牧雄氏が会長に選任されたことをここに報告させていただきます。

総会に先立って行われた永年在籍会 業費の増額」についてでした。幸いな員表彰では平成13年に入会し、在籍20 ことにこの4年間は競馬の売り上げが年となった別表の6名（個人会員5 伸びており、それに応じるように従来名、法人1名）に対して吉田会長から 8着までの出走奨励金を9着までに広賞状と記念品が贈られました。 吉田会長は「この4年間、とくに力を う中で感じたことは、GI競走の賞金を入れて取り組んできましたのは「札幌 が、世界と比べて高くなっている記念のGI競走昇格」それと「競走事 ことです。日本産、日本調教馬が日本

で競馬をするため、さらに競馬が発展していくために新しい役員の方々に期待したいところです。残念だったのは、新型コロナウイルス感染拡大防止のために研修旅行であるとか、懇親会などの馬主協会の行事がほとんどできなくなってしまったことです。それでも、札幌馬主協会は和気あいあいと、楽しく過ごせる会だと思っております。これは会員のみなさまが誇りに思っております。今後も会員の皆様の所有馬が活躍し、札幌馬主協会の

存在を示しながら楽しい会にしていきたいと思っております。その後の総会は定款にのっとり、吉田会長が議長を務めて進行。「令和3年度貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）」は事務局からの説明の後、監査役から監査報告により満場一致で可決、承認。また、「令和3年度事業報告」「公益目的支出計画実施完了」「令和4年度事業計画書及び収支予算書」が報告

されました。新会長に選定された岡田新会長は「札幌馬主協会は、競馬開催中はビュッフェで和気あいあいと、また行事に対しても会員の皆様が積極的に参加いただくなど楽しい会だと思っております。そういった良い雰囲気を受け継いで、粛々と業務を執行していく所存ですので皆さまのご協力を切に願います」と抱負を述べていま



永年在籍会員表彰受賞者

個人会員	法人会員
秋谷 壽之氏	富田牧場
川越 敏樹氏	(代表 富田秀一氏)
斎藤 光政氏	
平岡 茂樹氏	
林 孝輝氏	

札幌馬主協会役員名簿

会長理事	岡田牧雄（新）	名誉顧問	H. H. シェイク・モハメド
副会長理事	宮永雅己	最高顧問	岩本允
	藤原悟郎		下河辺俊行（新）
常務理事	吉田勝己	名誉会長	吉田照哉（新）
	木村貢	顧問	高田喜嘉
	三嶋昌春		谷川弘一郎
	秋谷壽之（新）		古川博
小林正和（新）	武岡大侖		
理事	本間茂	相談役	布施光章
	安原浩司		鈴木義孝
	吉澤克己		大浅貢
	岡田紘和		谷川利昭
	藤原俊哉		上水典明
	谷川貴英		三好吉男
	下河辺隆行		了徳寺健二
	國分 純（新）		小林昌志（新）
	岡田隆寛（新）		伊藤佳幸（新）
	吉田哲哉（新）		北所直人（新）
常任監事	浅沼廣幸		
監事	宮内修		

（敬省略）



岡田前事業サービス委員長



2年ぶりの懇親会。例年であれば夏に開催するものですが、コロナの影響でこの時期になりました。こうしてたくさんの方々にお集まりいただいて開催できることを喜びたいと思います。

2年ぶり 会員懇親会開催 ものまねショーを楽しむ



吉田前会長



何かと忙しい年の瀬に、足元の悪い中、本日は、たくさんの方に足を運んでいただいて感謝申し上げます。楽しいゲストの方々もご用意できましたので、お楽しみいただけたら幸いです。

飯島裕之札幌競馬場前場長



今年はイレギュラーな札幌開催ではありましたが、途切れることなく無事に開催することができました。この場を借りて御礼申し上げます。まだ予断を許さないような状況ではありますが、1日も早く収束することを願っております。

宮永副会長



何とか懇親会を開催したいという事業サービス委員会の努力で本日を迎えることができました。この懇親会をお楽しみいただき、よい年を迎えられますように乾杯したいと思います。

藤原副会長



久しぶりに顔を合わせる方も多く、楽しくもあっという間の時間でした。来年は競馬場にたくさんの方が集まり、また皆様の愛馬が活躍し、素晴らしい年になることを祈念して会を締めくりたいと思います。

「緊急事態宣言」の解除、そして札幌市に発令されていた「まん延防止等重点措置」も解除され、札幌市がイベント等について5000人、または収容人数の50%以内のいずれか大きい方と、というガイドラインを発表したことを受けて12月1日、札幌市内のホテルで2年ぶりに会員懇親会を開催いたしました。参加いただく方々には事前に抗原検査キットを配布、そして会場内には空間除菌装置を計12台設置し、さらに各テーブルにオゾン発生装置を配置するなど感染拡大防止対策が施される中での開催となりましたが、140人を超える方々にご参加いただき、懇親を深める一方で、ものまね芸人の布施辰徳さん、こんちはるさん、T.A-B.Oさんのデイナーショーをお楽しみいただきました。

飲食時以外のマスク着用、手指のアルコール消毒などにご協力をいただきましたこと、改めて感謝申し上げます。

特集 1

札幌競馬場でトレーニングセール開催 日高軽種馬農業協同組合主催

待望の札幌競馬開幕を2か月後に控えた5月23、24の両日、JRA札幌競馬場でデビューを間近に控えた2歳馬たちの競走馬市場「2歳トレーニングセール」が開催されました。

せりに上場されたのは、生産牧場が付加価値を付けようとトレーニングした馬や昨年の1歳市場において育成牧場がこのセールでの転売目的で購入した馬、あるいは日本中央競馬会がJRAフリーズアップセールへの上場を目的に購入したものの、4月のセールを欠場した馬たちです。その合計は134頭（牡60頭、牝74頭）。結果から言えば、この内96頭が売却され、総額6億9940万円を売り上げています。札幌競馬場から競走馬としての第一歩を踏み出した、これら馬たちの活躍を期待したいと思います。



助成に感謝を込めて

社会福祉法人 ゆあみ会
理事長 大橋 香

この度公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団・一般社団法人札幌馬主協会様より、令和3年度施設整備等助成金をいただくことができ、令和3年12月に通所送迎車両【トヨタ・ノア】を納車することができました。車両は日々の通所送迎に運用し、安心安全で乗り心地のよい車両は利用者に大人気で半年経った今でも乗るたびに「ノア、かっこいいね」と笑顔で乗り込んでくるほどです。

当法人は、昭和58年4月に岩見沢市手をつなぐ育成会にてこぶし共同作業所として発足し、平成21年4月に社会福祉法人格を取得して岩見沢市で障がい福祉事業を展開しています。これまでに就労継続支援B型事業所『工房こぶし・いこい』、地域共同生活支援事業所『すくらむ』、指定特定相談支援事業所『ぼかぼか』、生活介護事業所『らいむ』の4事業所を開設し、障がい者支援に力を注いでいます。

『工房こぶし・いこい』では、黒豆や黒千石、じゃがいも、大根などの畑作業に加え、2年前からはハウスでシャインマスカットの栽培に力を入れています。年末年始にはしめ飾りの製作、販売をしており、昨年末から北海道神宮での販売を開始しています。『らいむ』では重度障がい者の日常

生活全般と軽作業の支援を行っています。より多くの収益を生み出し利用者の工賃を引き上げられるよう日々取り組んでいます。障がい者のみなさんが地域で活躍する機会が増え、充実した社会生活を営めるよう、常に新しいことに挑戦し工賃の向上と生活の安定が図れるよう取り組んでいます。

法人としてもこの度、公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団・一般社団法人札幌馬主協会様から頂戴した貴重な志を糧に、今後も障がい者の気持ちに寄り添い、地域と共存できる支援体制の構築に励み、社会福祉活動により一層精進していこうと決意を改めたところです。重度障がい者のみなさんが壮大にゴール板を駆け抜ける競走馬の雄姿を見る機会があれば目を輝かせ笑顔を見せてくれるのではないかと想像します。

最後になりますが、この度は限られた財源の中で施設整備等助成金をいただけたことに誠に感謝申し上げます。助成金により購入した送迎車両はこれからも大事に丁寧に運用していきたいと思っております。ありがとうございました。



トレーニングセール最大の特徴は、調教を積まれたデビュー前の馬たちが、実際に競馬場のコースを使ってその走りを披露し、血統や馬格、コンフォメーション以外の魅力アピールしようというものです。日本では1994年3月、門別町（現在の日高町）に当時あった三栄牧場で開催され



たサンエイトレーニングセールが最初と言われています。そして、これをきっかけに機運が高まり、96年に公開調教を伴わない2歳セール「両国サラ3歳市場」（主催・日本軽種馬協会千葉支部）が行われました。97年からは公開調教を伴う「プレミアセール」（主催・プレミアセール）と「ひだかトレーニングセール」（主催・ひだか東農協）がスタートします。一方、北海道市場もこの年から2歳セールを行います。公開調教を伴う2歳市場をスタートさせるのは99年からになります。

トレーニングセールは、馬の販売ルートを拡大させたばかりではなく、育成牧場の育成技術を飛躍的に進歩させ、そして日本の競馬の発展に大きく寄与したとも言われています。

23日に行われた公開調教では、砂厚9・5センチに慣らされた札幌競馬場のダートコースを使用して行われました。計測されたのはゴール前2ハロンから、ハロン毎のラップが発表されます。実際に行われる競馬と異なり、トレーニングセールでは、そ



それぞれの馬に専属の計測担当者1人と、もう1人のバックアップ要員がついて正確なハロンラップを測ります。なぜならばコンマ1秒の差がセール本番の落札価格では大きな差となるのが珍しくないからです。今年、特徴的だったのは昨年までは100分の1秒単位で計測されたタイムが、実際の競馬と同じ10分の1秒単位へと変更されたこと。これは、成長期にある馬に必要な上の負荷をかけないようにという配慮から生まれたものです。

実際の競馬でも、ダートコースではアタマ差程度の併入であれば同タイムと掲示されます。そのため同タイムの馬が多くなります。

この日、公開調教を行ったのは137頭でした。騎乗者の斤量（体重）は飼養者発表によるものですが、下は51キから上は77キまで。その差はなんと26キ。これだけの体重差が2ハロン計測の場合でどれくらい影響するものなのかはエビデンスがありませんが、ゴール前2ハロンの合計タイムで最も速い時計を記録したのは上場番号26番「モアスマイル2022」（牡、父スマートファルコン）と、同70番「ウインレコード2022」（牡、トゥザグロリー）の2頭で21・9秒。

また、ゴール前1ハロンでは10・7秒で同13番「ヒシトパイズ2020」、同57番「アルテシア2020」、同70番「ウインレコード020」、同111番「スノーフラワー2020」、同131番「デイスティングイッシュャブル2020」、同「139番「ナイススクオリア2020」の6頭が最速タイで並ぶ結果となりました。



ゴール前2ハロン最速タイ「モアスマイル2020」



ゴール前2ハロン最速タイ、同1ハロン最速タイ「ウインレコード2020」

モアスマイル2020 牡・鹿毛・飼養者：(株)門別牧場

スマートファルコン 栗毛 2005	ゴールドアリュール	サンデーサイレンス ニキヤ
モアスマイル 鹿毛 2005	ケイシュウハーブ	ミシシッピアン キョウエイシラユキ
	ホワイトマズル	ダンシングブレーヴ Fair of the Furze
	コクトビューティー	サウスアトランティック シルクエンゼル

ウインレコード2020 牡・青鹿毛・飼養者：(株)NO.9ホストレーニング

トゥザグロリー 鹿毛 2007	キングカメハメハ	Kingmambo マンファス
ウインレコード 芦毛 2010	トゥザヴィクトリー	サンデーサイレンス フェアリードール
	チチカステナゴ	Smadoun スマラ
	ダンスインザロッジ	ダンスインザダーク エンプレスロッジ

せりは、その翌日、札幌競馬場のファンファーレ広場に設けられた特設会場で行われました。前日の公開調教のあと3頭の欠場が発表され、せりりにかげられたのは134頭。馬は、厩舎で手入れをされたあと、パドックを周回し、購買者に最終アピールを行います。そして用意された特設ステージへと移動して、声がかかるのを待つのです。

午前10時にスタートしたせりが終了したのは14時30分ですから、4時間半。長いように感じるかもしれませんが、1頭あたりの平均時間は約2分。その2分間のために育成牧場は文字通り命懸けで馬と向き合っているのです。





最高価格馬 42,000,000円 (税別)
上場番号131番「Distinguishable2020」
 (牝 鹿毛 3月15日生まれ)
 父/Runhappy 母の父/Distorted Humor
 購買者/森中 蕃
 販売申込者/(有)エトルタファーム
 飼養者/No.9ホーストレーニングメソッド
 生産牧場/米国

北海道市場2歳トレーニングセール2022 高額上位10傑 (敬称略)

価格(税込)	合計	2F→1F	1F→G	血統名	性別	父	生産者	購買者
42,000,000	22.4	11.7	10.7	Distinguishable2020	めす	Runhappy	(有)エトルタファーム	森中 蕃
23,000,000	22.4	11.7	10.7	ナイスクオリア 2020	めす	ドレフォン	(有)山際セントラルスタッド	ノーザンファーム
17,500,000	22.8	11.7	11.1	サバス 2020	牡	タリスマニック	(株)門別牧場	森中 蕃
16,000,000	21.9	11.1	10.8	モアスマイル 2020	牡	スマートファルコン	(有)千代田牧場	田代 貴夫
15,500,000	22.6	11.8	10.8	ワンオブクインズ 2020	牡	ストロングリターン	(有)ヤマダステーブル	天白 泰司
13,500,000	22.7	11.3	11.4	テツムーン 2020	牡	ホッコータルマエ	(有)山口ステーブル	森中 蕃
13,500,000	24.2	12.8	11.4	ロンドンシーズン 2020	めす	ジャスタウェイ	(有)下河辺牧場	前田 良平
13,000,000	22.0	11.1	10.9	キャンベルイモン 2020	牡	ビッグアーサー	坂牧場	岩手県馬主会
13,000,000	22.5	11.4	11.1	リアハッピー 2020	牡	リアルインパクト	(株)門別牧場	川根 幸晴
13,000,000	22.8	11.7	11.1	プレイフォーユー 2020	牡	ホッコータルマエ	(有)須崎牧場	西森 鶴

公開調教1ハロン計測上位10傑

時計	血統名	性別	種牡馬名	購買価格	販売申込者名	購買者名
10.7	Distinguishable2020	めす	Runhappy	42,000,000	(有)エトルタファーム	森中 蕃
10.7	ナイスクオリア 2020	めす	ドレフォン	23,000,000	(有)山際セントラルスタッド	ノーザンファーム
10.7	アルテシア 2020	めす	シャンハイボビー	12,000,000	(株)愛知ステーブル	北浦 博樹
10.7	ヒシトバズ 2020	牡	アジアエクスプレス	10,500,000	(株)門別牧場	梶山 高志
10.7	ウインレコード 2020	牡	トゥザグローリー	9,500,000	99.9	(株)ビープロジェクト
10.7	スノーフラワ 2020	めす	アルデバラシ	7,000,000	(有)エトルタファーム	山本 忍
10.8	モアスマイル 2020	牡	スマートファルコン	16,000,000	(有)千代田牧場	田代 貴夫
10.8	ワンオブクインズ 2020	牡	ストロングリターン	15,500,000	(有)ヤマダステーブル	天白 泰司
10.8	シャイニングムーン 2020	牡	オウケンブルースリ	8,200,000	(有)グランデファーム	G P マネージメント
10.8	エビスシハブ 2020	めす	バドトロワ	9,000,000	大栗 芳一	後藤 英成

公開調教2ハロン計測上位10傑

時計	血統名	性別	種牡馬名	購買価格	販売申込者名	購買者名
21.9	モアスマイル 2020	牡	スマートファルコン	16,000,000	(有)千代田牧場	森中 蕃
21.9	ウインレコード 2020	牡	トゥザグローリー	9,500,000	99.9	ノーザンファーム
22	キャンベルイモン 2020	牡	ビッグアーサー	13,000,000	坂牧場	北浦 博樹
22.1	エビスシハブ 2020	めす	バドトロワ	9,000,000	大栗 芳一	梶山 高志
22.2	トップオブゼル 2020	牡	マインドユアスキップ	11,000,000	(有)千代田牧場	(株)ビープロジェクト
22.4	Distinguishable2020	めす	Runhappy	42,000,000	(有)エトルタファーム	山本 忍
22.4	ナイスクオリア 2020	めす	ドレフォン	23,000,000	(有)山際セントラルスタッド	田代 貴夫
22.4	ドナジュディス 2020	牡	エスケンデレヤ	8,000,000	(有)飛野牧場	天白 泰司
22.4	スノーフラワ 2020	めす	アルデバラシ	7,000,000	(有)エトルタファーム	G P マネージメント
22.4	ブイールジュ 2020	めす	ミッキアイル	4,800,000	(有)グランデファーム	後藤 英成

北海道市場トレーニングセール累年成績

年次	上場頭数	売却頭数	売却率	売却総額	最高価格	最低価格	平均価格	中間価格	
2013	262	152	58	812,010,000	30,000,000	1,000,000	5,342,170	4,000,000	
2014	183	137	74.9	814,410,000	27,500,000	1,000,000	5,944,598	4,900,000	
2015	267	166	62.2	1,008,800,000	30,500,000	1,200,000	6,077,108	5,000,000	
2016	241	152	63.1	1,035,800,000	46,000,000	2,000,000	6,814,473	5,000,000	
2017	208	155	74.5	1,189,900,000	51,000,000	2,000,000	7,676,774	6,000,000	
2018	228	151	66.2	1,083,200,000	45,000,000	1,000,000	7,173,509	5,600,000	
2019	234	162	69.2	1,063,800,000	34,000,000	1,500,000	6,566,667	5,000,000	
2020	開催中止								
2021	124	83	66.9	592,100,000	30,000,000	2,000,000	7,133,735	5,800,000	
	牡	60	50	83.3	399,800,000	17,500,000	2,000,000	7,996,000	7,000,000
	めす	74	46	62.1	299,600,000	42,000,000	1,800,000	5,130,435	5,000,000
2022	合計	134	96	71.6	699,400,000	42,000,000	1,800,000	7,285,417	5,900,000

種牡馬別売却成績

種牡馬名	上場頭数	売却頭数	購買価格	最高価格	平均価格
ドレフォン	3	3	42,700,000	23,000,000	14,233,333
Runhappy	1	1	42,000,000	42,000,000	42,000,000
サトノクラウン	10	7	36,600,000	10,000,000	5,228,571
ホッコータルマエ	3	3	30,500,000	13,500,000	10,166,666
ストロングリターン	3	3	23,900,000	15,500,000	7,966,666
リオンデイズ	3	3	23,600,000	12,500,000	7,866,666
デクラレーションオブウォー	4	4	23,000,000	8,000,000	5,750,000
コパノリッキー	4	4	22,800,000	8,000,000	5,700,000
エスケンデレヤ	3	3	21,800,000	10,000,000	7,266,666
ビッグアーサー	3	3	21,800,000	13,000,000	7,266,666
シルバーステート	4	2	21,100,000	11,100,000	10,550,000

高額2位 23,000,000円 (税別)

上場番号139番「ナイスクオリア2020」
 (牝 鹿毛 1月12日生まれ)
 父/ドレフォン 母の父/キングカメハメハ
 購買者/ノーザンファーム
 販売申込者/(有)山際セントラルスタッド
 飼養者/(株)エイトステーブル
 生産牧場/(有)山際セントラルスタッド



最高価格を記録したのは、前日の公開調教でゴール前1ハロンの最速タイをマークした上場番号131番「Distinguishable2020」。米国産馬で、父はブリーダーズCスプリントの勝ち馬ランハッピー。4200万円で兵庫県の森中蕃氏によって落札されています。

なお、このセールでは昨年引き続き、オンラインからでも参加できるようにシステムが改良されています。オンラインでの

参加を希望した購買者は69人(前年比7人増)。うち52人がログインし、延べ118回の入札が行われています。オンラインによる最終落札は1350万円を筆頭に8頭で、その総額は6510万円。落札平均価格はオンラインに軍配が上がっています。

セール終了後、主催者を代表して日高軽種馬農協の古川雅且組合長は「たくさんの購買者がせりを盛り上げてくれた。1歳市場も好調だが、生産頭数が増えている分、

トレーニングセールに対する需要を感じた。需要がある限り、その声に応えていきたい」と今後の展望を交えて感想を話し、「今年はセレクションセールが2日間開催となり、サマーセールとセプテンバーセールが同時とりまとめになるなど昨年とは違ったせり開催になる。購買者に周知徹底させながら、多くの方に参加いただけるように努力したい」と総括しました。



22年欧米1歳市場における 新種牡馬考察



海外競馬解説者
合田直弘

【著者略歴】
1959年東京都出身。海外競馬解説者
慶應大学卒業後、テレビ東京に入社。
「土曜競馬中継」「馬・疾風ロマン」など
の制作を担当。のち、1988年に同社を
退社し、(有)リージェントを設立。テレ
ビ、新聞、ラジオ、雑誌などで海外競馬
の解説を行なっている。現在、グリーン
チャンネル「ALL IN LINE!〜世界の競馬
〜」「Go Racing!」などに出演。

7月12日に北米のケンタッキーダーンホットだ。21年の当歳市場で開催されるファシグタイプト場における産駒の平均価格10万6千・ジュライセールを皮切りに、182ギニーというのも、この年欧米各国における今年の1歳馬セールのサーキットがスタートする。今回のこのコラムでは、毎年この時期の恒例となっている、今年この1歳が初年度産駒となる新種牡馬の考察をお届けしたい。

20年に欧州でスタッドインした種牡馬で、初年度の種付け料が最も高かったのは、ダルハムホールスタッドにて5万ポンドで供用されたトゥーダーンホット(父ドウバウイ)だった。2歳時、G1デビュー(8万4647ギニー)とも、無敗の4連勝を飾り、欧州最優秀2歳牡馬の座に就いた後、3歳になって連勝は止まったものの、G1サセックスS(芝8F)などさらに2つのG1を制したのがトゥーダーンホットだ。初年度の種付け料(4万5千ポンド)、1歳市場における平均価格(8万4647ギニー)とも、2位だったのがブルーポイント(父シャマール)だ。2歳時から重賞戦線に顔を出していた一オ)らの初年度産駒が、今年1歳を迎えている。意外にも、と書いた。21年の当歳市場で、初年度産駒が平均価格10万8065ドルで購入されたのが、18年のG1フロリダダービー(d9F)勝ち馬オーディブル(父イントウミスタフ)だ。この数字は初年度の種付け料2万5千ドルの4倍以上にあり、マーケットの評価は上々だったと言えよう。馬格がある立派な仔を多く出しており、1歳市場でも注目が集まりそうだ。

2020年 欧州初供用種牡馬(高額種付け料トップ10)

種付け料	種牡馬名	生年	父	母	父の父	母の父	繋養地
£ 50,000	Too Darn Hot	2016	Dubawi	Dar Re Mi	Dubai Millennium	Singspiel	英 Darley
€ 45,000	Blue Point	2014	Shamardal	Scarlett Rose	Giant's Causeway	Royal Applause	愛 Darley
£ 25,000	Advertise	2016	Showcasing	Furbelow	Oasis Dream	Pivotal	英 National Stud
€ 25,000	Ten Sovereigns	2016	No Nay Never	Seeking Solace	Scat Daddy	Exceed And Excel	愛 Coolmore
€ 22,500	Calyx	2016	Kingman	Helleborine	Invincible Spirit	Observatory	愛 Coolmore
€ 22,500	Magna Grecia	2016	Invincible Spirit	Cabaret	Green Desert	Galileo	愛 Coolmore
£ 15,000	Masar	2015	New Approach	Khawlah	Galileo	Cape Cross	英 Darley
£ 15,000	Study of Man	2015	ディーブインパクト	Second Happiness	サンデーサイレンス	Storm Cat	英 Lanwades
€ 17,500	Waldgeist	2014	Galileo	Waldlerche	Sadler's Wells	Monsun	愛 Ballylinch
€ 15,000	Phoenix of Spain	2016	Lope de Vega	Lucky Clio	Shamardal	Key of Luck	愛 National Stud

2020年米国初供用種牡馬(高額種付け料トップ10)

種付け料	種牡馬名	生年	父	母	父の父	母の父	繋養地
\$45,000	Omaha Beach	2016	War Front	Charming	Danzig	Seeking the Gold	Spendthrift
\$30,000	Vino Rosso	2015	Curlin	Mythical Bride	Smart Strike	Street Cry	Spendthrift
\$25,000	Audible	2015	Into Mischief	Blue Devil Bel	Harlan's Holiday	Gilded Time	Winster
\$25,000	Catholic Boy	2015	More Than Ready	Song of Bernadette	サザンヘイロー	Bernardini	Claiborne
\$25,000	Mitole	2015	エスケンデレヤ	Indian Miss	Giant's Causeway	Indian Charlie	Spendthrift
\$20,000	Catalina Cruiser	2014	Union Rags	Dixie Union	Dixie Union	Mineshaft	Lane's End
\$20,000	Yoshida	2014	ハーツクライ	ヒルダズパッション	サンデーサイレンス	Canadian Frontier	Winster
\$15,000	World of Trouble	2015	Kantharos	Meets Expectations	Lion Heart	Valid Expectations	Hill 'n' Dale
\$10,000	Enticed	2015	Medaglia d'Oro	It's Tricky	El Prado	Mineshaft	Darley
\$10,000	Preservationist	2013	Arch	Flying Dixie	Kris S.	Dixieland Band	Airdrie

中央競馬の飽和状態を 解決するには



須田鷹雄

【著者略歴】

1970年東京生まれ。競馬評論家、ギャンブル評論家。中学生時代にミスターシービーをきっかけとして競馬に興味を持ち、1990年・大学在学中に「競馬ダントツ読本」(宝島社)でライターとしてデビュー。以来、競馬やギャンブルに関する著述を各種媒体で行うほか、テレビ・ラジオ・イベントの構成・出演も手掛ける。

この号が皆さんのお手元に届くころには、再来年のダートグレードにおける変更点がニュースになっていることかと思う。

目的のひとつはいままで拡充の要望があった若いダート馬の番組充実で、これは現在の中央競馬では解決しようがないテーマでもあった。

中央競馬の施行日数は年間でのべ288日、1日のレース数は12レースと決まっております。競馬側の意志では動かせない。さらに最近では外厩の活用によりトレセンにおける臨戦態勢馬の比率が高まっている。つまり、物理的に馬を詰め込む番組余力がない。

2021年は288×12の3456レースが余すところなく行われ、出走頭数はのべ47660頭だった。1レース平均では13・79頭である。手元にデータがある中でいちばん

中央から地方への転出についてはさらに深刻というか、ひと昔前と同じになる。売り上げと賞金水準が下がるとしたら地方からなので、中央で新馬として下ろしたいという馬は

増えるし、転出せず中央に留まりたいという馬も増える。生産頭数が減ったり馬主が減ったりすれば解決していくが、その前の過渡期



古い1986年は年間3280レースでのべ馬が転出するケースも目立つ。これは番組上36235頭が出走。平均出走頭数は11・04頭に過ぎなかった。馬主の皆さんが頭を悩ませる入厩難・出走難はここからきているわけで、中央競馬は飽和状態。もしなんらかの力テゴリを拡充しようとしたら別のカテゴリーを犠牲にしなくてはならない

一方で、地方では岩手の芝というごく僅かな例外を除き、ダートで競馬が行われていない。ダート向きの中央所属馬を地方側で行われるレースに誘導したり、そもそも地方への転出を促すことで中央の飽和状態を解決しようというのには理にかなった話である。その意味で今回のリニューアルは地方関係者の心情はともかく合理的である。

最近では地方側の賞金水準が上がったことにより、中央オープン・準オープンのダートにはいま以上の「中央ぎゅうぎゅう状態」が生じてもおかしくない。とはいえいまは売り上げ絶対調期なので、変に将来を悲観せず強気のアイデア出しをしていくのもよいだろう。

筆者が考えていることで若干トリッキーではあるが、ありえなくはないかなと思っただけで、「地方の開催余力の活用」だ。地方競馬も都道府県ごとに年間開催数の上限が定められているが、開催日数(開催数×最大6日)を使い切っていない。さらに、道営競馬の札幌と愛知県競馬の中京は、いまでも開催可能な場合によっては芝のレースを実施することもできる。そこに、中央馬の出走できる交流競走を組む。そのデザインを中央主導で描くということだ。

先に言っておくと、札幌は寒冷地の芝がもつかという問題があるし、中京は施設オーナーがJRAでも県競馬でもないでコストの問題がある。ただダートのみを対象にするならこの2場以外にも候補は広がる。兵庫のように開催数を使い切っているところはあっても、×6で日数まで上限を使っているところは無いはずだ(令和3年度の開催成績を見

馬が転出するケースも目立つ。これは番組上のデザインというより経済上の合理性から生じた動きであり、これはこれでよいことだと思う。下級条件の馬についても、地方側の賞金が良くなったことで中央にこだわらないケースは増えるだろうし、中古市場も昔に比べると整備されてきた。

今回の改編を含めたダートグレード・交流競走のあり方と、馬主の意志による移籍・転売。中央の飽和を解決するためのこれらのカードにおいて、今後問題になることがあるとしたら何だろうか。

リスクとして考えられるのは、売り上げがピークアウトすることだ。ダートグレードの拡充などハイエンド寄りの施策は高コストであり、売り上げが伴わなくなるとバランスがおかしくなる。

それらの開催日を使えば「馬が走れる枠」はできる。極端に言えば地方馬1頭その他全部中央馬の交流競走でもいい。いまだとカレンダー上ハメ込むところがないが、いずれは月曜か金曜の地方競馬IPATが開放されるだろうからそこが候補となる。問題は売り上げで、いくら未勝利下位や1勝クラス下位の馬を対象にしても全体がペイするかわからない。逆にそれがなければ既に検討されている。

ただ、過去に県営新潟競馬で似たようなデザインの番組があったという話も先日聞いた。当時と比べるとIPATがあるぶんJRAの一方的な手出しという話にはならないわけだし、全体が均衡しうるか考えてもよいように思う。

トリッキーな話だけして終わるのはなかなか正攻法の話も書く、やはり本質的な解決は288日の重しが外れること。それに向けてのロビー活動等については、JRAも馬主も協力して考えていく必要がある。相当に困難な話ではあるが、「諦めたらそこで試合終了」でもある。

馬上の景色

第12回

日本産、日本調教馬の挑戦を待つ



吉田直哉

【著者略歴】

1968年北海道生まれ。1993年獣医師免許取得。1994年から3年間アイルランド、英国で牧場経営を学び、1997年から2年間米国ケンタッキー州ハグヤード診療所で研修後、父・重雄が経営していた吉田牧場で働く。2002年米国に進出。レキシントン市にウィンチェスターファームを設立し現在に至る。ケンタッキー州牧場経営者協会理事、ケンタッキー大学評議員歴任。またJRA「優駿」誌、報知新聞、競馬ブックにも海外競馬情報を寄稿する。



ダート競馬の最高峰ケンタツキードービー(三歳GIダート2000)が5月7日米国ケンタツキー州「チャーチルダウンズ競馬場」で行われた。毎年5月第1土曜日に施行されるこの国民的行事は今回が148回目。新型コロナウイルス対策が解除され3年ぶりに通常開催となった今年

は、前日のオークス開催日に10万5719人、そしてドービー当日に14万7294人の入場を記録し、約1600万人の視聴者と共に、通常の生活に戻りつつある米国に「アメリカンドリーム」の

シーンを提供した。このレース、冒頭で「最高峰」と称したのには幾つか理由がある。その最たるものは出走三歳馬のレベルの高さだ。この距離を走る重賞馬には米国産馬の良ところが詰まっており、ドービー出走各馬から多くを感じ取れる。次に出走頭数は20頭、つまり三年前に誕生した1万9037頭にしてみれば952分の1という難関だ。しかも日本のように中央、地方の壁がなく、どの馬でも機会があればドービーを目指しか八かの覚悟で挑んでくる。実際今

回優勝したりリッチストライクと関係者も目立たぬ存在で、レース後のスタンドのどよめきは「あれは誰」という驚きを表していた。そんな険しい道のりを踏破し出走権を得た人馬に自分の夢を重ねる方が多いことが「競馬は知らないがケンタツキードービーは知っている」と言われるほど米国民に支持される理由だろう。ダート2000という部門ではGIブリーダーズカップ・クラシック(3歳以上)もあるが、知名度や人気はドービーに遠く及ばない。例えば、私は米国入国時に事業内容

動だけの数日を過ごし、陸送されるので疲労が溜まる。因みにクラウンプライドはチャーチルダウンズ競馬場内に新設された検疫厩舎を初めて使用するドービー出走馬にもなった。

を審査官に説明する必要がある。その際に私の牧場から何度かドービーへ送り出したことを付け加えると尋問がすぐ終わってしまうほどだ。

さて、ドービー開催週には地域全体が馬主を温かく迎え入れる。主催者は各出走馬主に2人のコンシェルジュと運転手付きの車を1台用意。彼らは1週間のみ雇われたアルバイトだが、医師、大学教授、企業経営者といった方ばかりでチャーチルダウンズ競馬場内のことには勿論、地域経済や観光、文化面など様々な質問に答えられるように配慮している。レキシントンの各種牡馬事業体も幹部級がゲストを丁寧に迎え、各馬の特徴を丁寧に伝えて軽種馬生産や産駒購入へのヒントを提供してくれる。一方、各馬主の苦労話についてもメディアが

丁寧に調べ上げ、それがファンや関係者を勇気付けるエピソードとして紹介する。ところで、この長いケンタツキードービーの歴史で、これまで2頭の日本産馬が挑戦している。本会の会員、吉澤克己氏のマスタートフエンサー(2019年)、そ

して本年の吉田照哉氏のクラウンプライドである。マスタートフエンサーの遠征では私自身も少し関わっており、外国馬としては初のケースとなるキーンランド競馬場での検疫、調整を行った。三方を

実は私はこれまで日本産馬がこのレースで好勝負をするのは不可能だろうと思ってきた。だから、日本産馬に挑戦してほしいとも思っており、この2頭の参戦は本当に嬉しいものであった。このコラムではお世辞は書かないと決めていた。冷静にこの2頭や現在の日本産馬、そしてそれを支える厩舎関係者の技量向上、遠征ノウハウ蓄積を考えてみて、日本にもケンタツキードービー制覇を狙える可能性が出てきたと思う。芝とダート、二兎を追える時期に



も日本では経験できない水田のような不良馬場を克服し上がり最速で6着になった。クラウンプライドについても、これまでドバイから移動してきた出走馬とは異なり、ドバイからチャーチルダウンズ競馬場隣のルイヴィル空港へ直接空輸するという方法で空輸された。シカゴやニューヨーク経由だと

後の挑戦に期待したい。

特別座談会

馬産地競馬を盛り上げるために



- 増田知之（元東京競馬場場長）
- 越智直弘（札幌競馬場場長）
- 吉田照哉（札幌馬主協会名誉会長）
- 岡田牧雄（札幌馬主協会会長）
- 宮永雅己（札幌馬主協会副会長）
- 木村 貢（札幌馬主協会総務・広報委員長）
- 吉澤克己（札幌馬主協会総務・広報副委員長）

ニッポンの競馬は日々目まぐるしく進化と変化を遂げています。かつては夢物語だった海外重賞勝利は、今や当たり前のように報道されるようになりましたし、世界最高峰レースのひとつ「フリーダーズカップ」を制したラヴズオンリーユーはエクリス賞芝牝馬チャンピオンにも選ばれました。

その一方で、競馬は多くのファンに娯楽を提供するレジャーという側面も持っています。

当協会にとっての悲願「札幌記念のG I 昇格」は確実にレベルアップを果たしたニッポン競馬を世界に強くアピールすると同時に、夏の北海道シリーズを盛り上げるための必須アイテムでもあるのです。

今回はホッカイドウ競馬も含めた「馬産地競馬を盛り上げるために」をテーマに、元JRA番組企画室長で、現在は日本軽種馬協会監事を務める増田知之氏、札幌競馬場の越智直弘場長を迎えて、当協会岡田会長ほか理事とこれらテーマについて熱く語り合っていたいただきました。当日は、これらのテーマを様々な角度から約3時間にわたってお話いただきましたが、その一部を紹介いたします。



吉田照哉氏

岡田牧雄（札幌馬主協会会長。以下、岡田）・・・忙しい中、今日はありがとうございます。今日は、夏の北海道シリーズを盛り上げるための「札幌記念G I 昇格」と札幌2歳ステークスを除く「3重賞競走の国際招待化」そして、ホッカイドウ競馬も含めた馬産地競馬を盛り上げるための「ダート番組の充実」をテーマにお話していただきたいと思っています。進行は、木村総務・広報委員長にお願いしたいと思います。どうぞ、よろしくお願ひします。

木村貢（札幌馬主協会総務・広報委員長。以下、木村）・・・この会報誌が発行されるのは北海道シリーズの真つただ中であろうと思いますが、まず、国内の競馬における北海道の夏競馬、馬産地競馬についてどうい盛り上げ方をしたらいいのかというご意見をいただければと思います。

岡田・・・札幌記念の昇格は、岩本会長の時代から私たちの悲願であり、レーティングなどは全てクリアしているにもかかわらず、話がないか進まない。昨今は（地方競馬所属馬が出走権利を得るための）ステップレースがないという話も聞きますが、例えば宝塚記念や有馬記念といったG I 競走には指定ステップレースは存在しません。

吉田照哉（札幌馬主協会名誉会長。以下、吉田）・・・3歳のクラシックレースは別ですが、古馬にステップレース、トライアルレースなんて要らないと思います。古馬は毎回がトライアルみたいなものですから。世界中がこの競馬でもそうです。

木村・・・先ほどの岡田さんの話の補足ですが、有馬記念や宝塚記念、ジャパンカップやチャンピオンズカップもそうなのですが、指定ステップレースが存在しないG I 競走はあります。その際、地方競馬所属馬の出走順位は「通算取得賞金」+「過去1年間の取得賞金」+「過去2年間のG I 競走における取得賞金」の総計が多い順とあります。

岡田・・・そうならば（賞金の高い）南関東地区の馬が有利になるのですが、良質馬は賞金が高い地区に集まりますので、理に適って

いると思います。札幌記念もそうやって決めれば良いと思います。

増田知之（元東京競馬場場長。以下、増田）・・・先ほど、レーティングの話が出ましたが、中山記念や金鯱賞、オールカマー、毎日王冠、神戸新聞杯なども基準を満たしています。その中で、札幌記念は全G II の最高賞金額としてG II 最高峰レースに位置付けています。

吉田・・・札幌記念が天皇賞・秋とか、凱旋門賞に向かう馬にとって重要な位置にあるということはみなさんご承知の通りだと思います。他の外国はアイルランドのチャンピオンステークスとか、英国のインターナショナルSとか、ドイツのバーデン大賞とか、みんなG I を使って凱旋門賞に挑むのに、何で日本だけG II レースが望まなければいけないのか



岡田牧雄氏



木村 貢氏

となつてしまう。私たちは、JRAの方々からCS C国際セリ名簿基準委員会に働きかけたいと言っているのです。

増田：私はJRA時代に番組編成に携わる部署に長くいましたので、その経験を踏まえて言わせていただくと、中央競馬の番組は春秋それぞれ後半にピークになるように出来あがっています。そういう意味では札幌記念は秋のG-1に向けたステップレースとしての位置づけなのです。夏は、一般的に有力馬の休養・調整時期でもありますので、そういう時期にG-1は置きづらいというのがあります。

木村：宮永副会長、これまでの意見を聞いていかがでしょうか。

宮永雅己（札幌馬主協会副会長。以下、宮永）：私は、生産者ではなく馬主という立場しかありませんので、今日お集りの方々のよ

と、そう思います。

吉田：夏の北海道というのは日本の中では涼しいと言われていて、日本人も外人も含めたお客さんがたくさん来る場所です。世界を見ていると、ヨーロッパで競馬をやるのは常識なのです。フランスだったらドーヴィルだし、イギリスだったらロイヤルアスコットとかヨークとか、アメリカだったらサラトガとか。ドーヴィルなんかは毎週G-1をやっているわけで、日本では札幌がそれに該当するのではないかと思います。

岡田：札幌競馬場で国際競走するにあたっては検疫の問題がすごく大きいという話があるけれども、今回東京競馬場に、空港から直接入厩が可能な国際検疫厩舎ができました。あれはもちろん札幌でも可能ですよ。

越智直弘（札幌競馬場場長。以下、越智）：はい。ただし、環境の違いが若干ありまし



吉澤克己氏

うに番組の体系について深く考えて来ませんでした。ただ、札幌記念のG-1の昇格については岩本会長の時代から、色々な条件が出されて、それを全部クリアしてもなかなかG-1にしてもらえない。実現すれば、札幌の競馬ファンも喜ぶのではないかと思います。

木村：ありがたいございます。これは、以前から言われていたことなのですがG-1競走が真のチャンピオン決定戦なのか否かということに終始すると思います。皐月賞が中山競馬場2000mのチャンピオン決定戦なのか、ダービーへ向けてのステップレースなのか。結論を出すのは難しい問題ですが、少なくとも出走馬のレベルに関しては、すでにG-1競走の格付けされているレースと遜色がないことは共通認識だと思っています。

吉田：日本の馬は強くなりましたよ。ドバイやサウジアラビア、香港では当たり前のように勝ち、ブリーダーズカップも勝ちました。これだけ日本の馬が強くなっていて、札幌記念も外国のG-1と全く遜色がないレベルの競馬をやっているのに、なぜG-1にしないのかなど。国内だけではなく、海外の評価も交えて決めてもらいたい。本当にそう思います。

て、札幌競馬場のほうが厩舎と馬場内の距離が近いのです。それから夏の間、馬がかなり滞在しますので、日本の馬がいるところに外国馬が入ってくるようになります。そういったクリアすべき問題は幾つかあると思います。

木村：吉澤さん、今の話を聞いて何か考えはございますでしょうか。

吉澤克己（札幌馬主協会総務・広報副委員長。以下、吉澤）：私は2年前に所有馬をケントッキードービーに使いました。ケントッキードービーが行われるチャーチルダウンズ競馬場は検疫馬房が騒がしくて馬にとつてあまりよくないということでキーンランド競馬場に移動して検疫を行いました。
木村：そういった方法が取れば、選択肢は広がりますね。
吉澤：札幌近郊にも牧場はたくさんありますし、門別競馬場にも協力してもらえば札幌競馬場以外でも検疫は可能だと思います。

越智：運動する施設もある程度必要ですが、アイデアはたくさんあるかなと思います。
岡田：札幌競馬場で（国際招待競走を）やるという意思を札幌馬主協会として前面に出したいね。

英国、仏国、日本における月別重賞競走構成数(2009年)

	重賞	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
英国	G I	0	0	0	0	3	10	5	4	4	6	0	0	32
	G II	0	0	0	1	6	7	11	6	9	3	0	0	43
	G III	0	0	1	9	12	7	11	10	7	10	0	0	67
	計	0	0	1	10	21	24	27	20	20	19	0	0	142
仏国	G I	0	0	0	1	4	3	2	5	2	8	2	0	27
	G II	0	0	0	2	8	1	3	4	2	5	1	0	26
	G III	0	0	2	8	5	7	5	9	10	6	4	0	56
	計	0	0	2	11	17	11	10	18	14	19	7	0	109
日本	G I	0	1	1	2	5	2	0	0	0	3	4	4	22
	G II	2	1	6	5	6	0	0	1	5	4	2	2	34
	G III	7	9	9	3	1	4	6	7	6	3	5	5	65
	計	9	11	16	10	12	6	6	8	11	10	11	11	121

増田知之氏著「ニッポン競馬50の風味」(東邦出版)より



越智直弘氏

木村：先ほど、札幌のファンという話が宮永副会長から出ました。今日の、もう一つのテーマである「夏の北海道シリーズ馬産地競馬」を盛り上げるためにはどうすればいいのか。岡田会長からお願いします。

岡田：先ほどの延長線の話にもなるのですが、札幌記念は凱旋門賞のトライアルレース的な意味合いで開催されているので、完全なる国際招待レースにして、このレースを目標に、海外から馬がチャレンジしてくるようなレースにしてほしいという思いがあります。札幌記念だけではなく札幌で行われる古馬重賞全部です。さすがに、全部G-1にというのは難しいと思うので、G III格付けのままで良いから完全招待レースにすれば、ワールドオールスタージョッキーズを札幌競馬場で持っている意義が大いに増すのではないかと

2021年JRA重賞番組

格付け	芝コース	ダートコース
G I	22	2
G II	37	1
G III	55	12
未格付け	1	0
合計	115	15

保護の目的でダートコースが作られたのが最初です。越智：ダート競馬に含めて地方競馬とJRAで2020年から研究チームを作り、その成果が今回の改革につながりました。

越智：興行面からみても、高条件のレースは売上げがいいので、確かにもつたない感じはありますね。ちなみに芝、ダートのレース

岡田：生産者の立場からひと言わせていただくと、ダート馬が欲しいと言う馬主さんはすごく増えました。その一方で、これまでは番組が偏っていると言わざるを得ませんでした。まだまだ改良しなければならないことは多いですが、今回の改革は高く評価したいと思います。

岡田：日高では、ダート馬をつくろうという機運が高まっています。種付け料が安価に設定されていることもありますが、多くの繁殖牝馬を集める種牡馬はだいたいがダート馬です。

吉澤：函館と札幌競馬に2歳ダートのオープン以上のレースが欲しいですね。札幌2歳ステークスとか函館2歳ステークスに道営競馬の馬が来るのですけれども、道営の馬が芝を走っていたら、なかなかピンとこないのでは。

年度別種付け頭数上位20頭

2020		2021	
キズナ	242	ルヴァンスレーヴ	223
エビファネイア	240	エビファネイア	218
レイデオロ	196	ゴールドドリーム	212
モーニン	190	サートゥルナーリア	205
ドレフォン	186	キズナ	192
ロードカナロア	179	アメリカンペイトリオット	186
ドゥラメンテ	178	ブリックスアンドモルタル	180
ブリックスアンドモルタル	178	モーニン	178
リアルスティール	176	ミスターメロディ	174
マジスティックウォリアー	175	リアルスティール	173
オルフェヴル	165	ドレフォン	172
シルバーステート	165	ホッコータルマエ	172
モーリス	163	レイデオロ	170
アジアエクスプレス	161	モズアスコット	167
ホッコータルマエ	161	サンダースノー	160
ニューイヤーズデイ	158	イスラボニータ	159
ベストウオーリア	155	オルフェヴル	157
サンダースノー	152	ミッキーアイル	155
サトノダイヤモンド	145	ロードカナロア	155
カリフォルニアクローム	143	カリフォルニアクローム	154



増田知之氏

馬が強くなって、他も選択肢がたくさんあるなら来ませんよ。増田：馬が来日すれば、夏競馬の振興になつて面白くなると思います。しかしどうでしょう。秋もジャパンカップを中心にマイルチャンピオンシップなどを「ジャパン・オータムインターナショナル」として経費負担しなくても最近はなかなか日本に来てくれません。

すし、オセアニアもその辺の距離を喜ぶのではないかと思います。日本に夏に国際招待競走をするなら、札幌しかないかなという気がしています。それと、キーンランド競馬場とは姉妹提携しているけれども馬の交流がない。来る来ないはわかりませんが、門戸を開けておくことは大切だと思っていました。

増田：いいレースを札幌の夏に集中して組んで盛り上げるという岡田会長のお話は、面白いなあとお聞きしました。英国ではベストシーズンの6月にウインブルドンテニス、ロイヤルアスコット、ダービーなどがあります。最高の季節に最高のイベントを行います。基本だと思えます。そういう意味で、札幌のベストの8月に最高規模の競馬をやりたいというお気持ちはわかります。競馬は気候によりその国の形が違ってきます。英国では冬季は芝平地競馬が開催できない。しかしJRAは通年で開催できます。自ずと日本のベストシーズンの春秋にベスト(GI)が配置されてきたのです。



国際都市札幌をアピールできるWASJ



賑わう札幌競馬場



札幌記念はG1昇格を目指す

岡田：8月は香港もオセアニアもシーズンオフなので来やすいということ聞いています。香港の馬にとっては、洋芝1200メートルのキーンランドカップはベストと思える条件です。

木村：話は尽きませんが、もうひとつ。ホッカイドウ競馬も含めた馬産地競馬の振興という意味ではダート競馬、ダート番組についてもご意見を頂戴したいと思えます。すでに発表されたとおり、地方競馬場を使ってダート三冠競走を整備していく方向性が打ち出さ



越智…そうすると、新馬、未勝利戦もダート番組を増やさねばなりません。

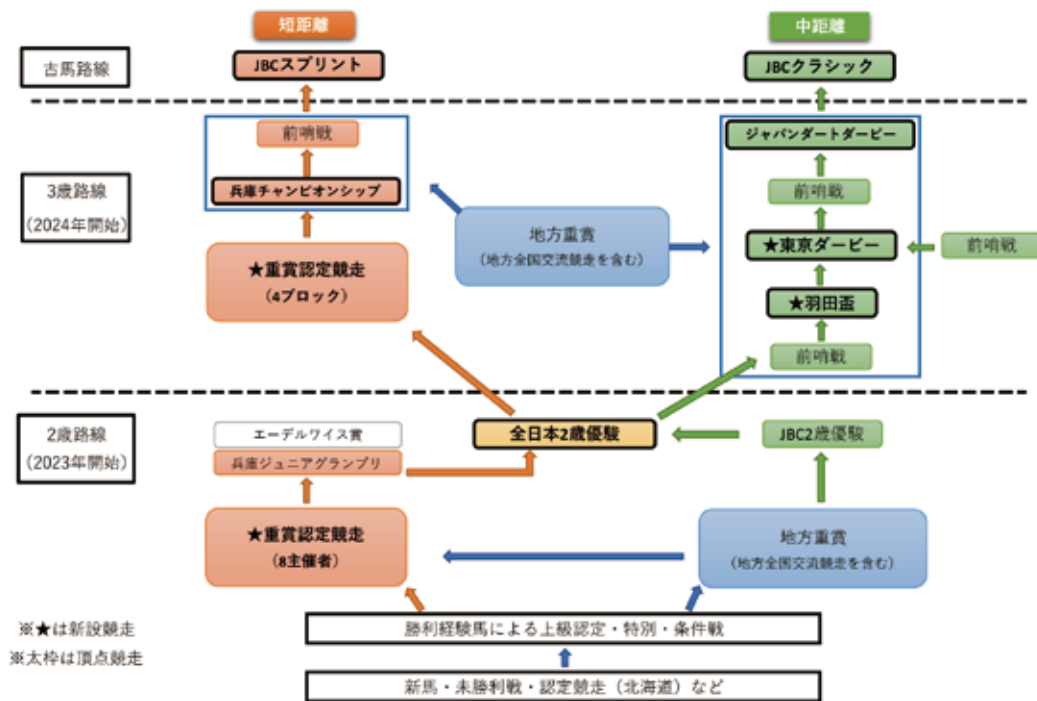
吉田…札幌開催の2歳戦はホッカイドウ競馬から結構な数が来るから、補完できると思いますよ。

木村…JRA番組の7対5はいいのですけれども、その2割の差を交流のほうに向けていただければ、もっと有効的なレースができると思うのです。そういう事を含め、夏の、北海道シリーズに関して言えばホッカイドウ競馬ももっと交流があってもいいのかなと感じます。

吉田…それと、夏の札幌開催では古馬もフルゲートにならないケースが多い。厩舎に制限があるから仕方ないと思いますが、そこをオープンにしてくれば、ホッカイドウ競馬の調教師さんや馬主さんに夢を与えられる。

越智…あまりやり過ぎると、今度は門別で馬がそろわないとか……。大丈夫でしょうか（笑い）。

2・3歳ダート競走主要路線体系図



吉澤…ダート番組の話に戻りますが、2歳のダートGも欲しいです。JRA最終週にヤングジョッキースリズがあるので、その日に2歳ダートGを中山の1800mという

もしれませんが、そういったことに集約された座談会だったと思います。今日は、どうもありがとうございました。

(令和4年6月28日(火)収録)

のも一案だと思えます。仮にケンタッキーダービーを目指そうと思ったら、そういうレースも欲しいですね。

岡田…JBC2歳優駿は1800mですが、JpnIIIです。そういったことを含め、中央と地方の境目を取り払うのは北海道からだという感覚でやっていただけたらいいと思う。ホッカイドウ競馬も冬期間の問題があつてなかなか大変なので、馬産地競馬というくりの中で一体化して行う必要があるのではないかと思います。

増田…3歳馬の体系が変わってくると、おのずと2歳も変わってきます。2歳の話はもちろん今おっしゃるとおりですけれども、3歳のところが変われば、それに引張られるように2歳も変わってきますから。

岡田…馬産地競馬門別競馬場の活用という部



宮永雅己氏

木村…素晴らしいアイデアはたくさんあるのですが、色々なものに縛られすぎて動きが取れないことが多い。それは競馬サークルだけではなく、日本という国が抱えている問題か

宮永…今日の話は、色々勉強になりました。以前から感じていたことですが、今の札幌競馬場ができたとき、私は馬主協会の競馬場改築検討委員会の委員長という立場で好評いただいているピュッフェ方式にもいろいろ携わってきたのですけれども、完成したらいきなり開催日数を減らされました。できればあと2日ぐらい札幌で開催できるのが私たちにも、札幌競馬を楽しみにしているファンの方にも良いと思います。



特集 2

JBC協会のあゆみ

～第1回JBC競走までの道のり

第1回JBCクラシックを制したレギュラーメンバー



© いちかんぼ

昭和天皇の崩御、そして平成時代がスタートした1989年は競馬サークルにとってもエポックメイキングな出来事がいくつかあった。中央競馬では調教師の定年退職制度がスタート。奇しくも秋の東京競馬場では第100回天皇賞が施行されて、若き武豊騎手が手綱を取ったスーパークレークがオグリキャップを抑えて優勝している。馬産地では8月の北海道2歳市場（当時の表記ママ）でトウショウボーイ産駒に3億5000万円の値が付けられたのもこの年だったが、後年まで大きな影響を与えることになったのは、谷川弘一郎氏（谷川牧場代表）の呼びかけにより、古川博氏（豊洋牧場代表）を代表とした任意団体ジャパンスリーダーズカップ協会の発足だったというのは、とくに近年では衆目の一致するところである。

この協会は、その名前からすぐに連想できるように、米国のブリーダーズカップ・リミテッドを範として、その実現に向けて発足した。

「当時、中央の売り上げは飛ぶ鳥を落とす勢いの右肩上がりでしたが、地方競馬はいえは6000億円を切っていた1985年よりは回復傾向にありましたが、過去最高（当時）を記録した80年（約8000億円）には及ばない状況で、中央と地方の格差がどんどん開いている時期でした。生産地としては、なんとか地方競馬、とくに地元のホッカイドウ競馬に頑張ってもらいたいと、谷川さんが立ち上がったのがきっかけになりました」と、のちにジャパンスリーダーズカップ協会（以下JBC協会）事務局長を務めることになる今泉玄氏は、当時を懐かしそうに振り返った。

ともあれ、任意団体として1989年の4月に発足したJBC協会は、さっそく、そ

の年の10月に札幌競馬場ダート2400mを舞台にした1着賞金3000万円という高額賞金レース「ブリーダーズゴールドカップ」（以下、BGC）の実現に向けて動き出す。その年、大井競馬の帝王賞の1着賞金が3400万円だったことから、その規模を伺い知ってほしい。原資となったのは種牡馬たちが身を削って稼ぎ出した種付け料。サラブレッド種牡馬からは1頭10万円、アラブ種牡馬からは1頭5万円という登録料のほか、さらにその年の種付け料1頭あたりの30%相当額を集めることに成功したが、そこで行政の壁に突き当たる。主催者ではない任意団体が賞金を用意したレースを行うことは公正確保を損なう恐れがあると

いことだった。まして予定していたBGCはJRAも含めた全国交流重賞。農水省はもちろん、JRA、NAR、そして主催者である北海道はもちろん、全国の競馬主催者などこれらすべてから了承を取り付けなければならぬのだが、それは現実的には、ほぼ不可能に近い。そこで、任意団体として活動していた同協会は、北海道知事（横路孝弘氏＝当時）が認可する「社団法人ジャパンスリーダーズカップ協会」として生まれ変わり、主催者に寄付をするというスタイルで参画する方向へと舵を切った。5月に申請を行い、実際に認可が下りたのはレースのほぼ一か月前だったというが、これで一気にBGCへの実現へ向けて加速することになる。

レース当日。中央からは岡部幸雄騎手、横山典弘騎手がレインボーアカサカ、ブランドアンヌで参戦。笠松からは、同じ日に東海地区で1着賞金4000万円という「名古屋市政100周年記念競走」が行われるにもかわらずフェートノーザンが安藤勝巳騎手とともにエントリリーしてきた。これらを地元のホッカイドウ競馬勢が迎え撃つという図式で大いに盛り上がりを見せた。



21年金沢競馬場では1日総発売額レコードを記録した

また、JRAは第1回JBC競走が行われる前年から「ジャパンカップ・ダート」を新設することを発表。さらに米国からは「登録商標であるブリーダーズカップの名前を使用することは認めない」との通知が届くなど、まさに四面楚歌状態。

それでも古川会長以下のJBC協会は

「レースを行うこと」を最優先とし、2001年10月31日、日本で初めて2つのGI競走「JBC競走」の実施にこぎつける。このレースは50か所以上の地方競馬場、場外馬券売場で発売され、40億円という売上げを記録した。大井競馬場ではその成功を見届けた古川氏は翌年の定期総会において辞意を表明。その総会では古川氏や岡田繁幸氏とともに、会長代行兼、副会長という立場で催の実施に尽力した吉田勝巳氏（現会長）が会長に任命され、古川氏は最高顧問に就任した。

あれから、もう間もなく四半世紀の時間が流れようとしている。現在、生産者で構成されるJBC協会はJBC競走に積極的に運営にかかわるようになり、2018年にはJRA京都競馬場でのJBC競走を実施させた。全国地方競馬を1つにまとめただけでなく、中央地方の垣根を超えた最初の成功例として記憶されることになったのである。

JBC協会役員名簿（1989年発足時）

会長	古川 博
副会長	谷岡 幸一
	斎藤 隆
	谷川 弘一郎
	吉田 照哉
専務理事	(欠)
理事	早田 光一郎
	岡田 義一
	土井 睦秋
	下河辺 俊行
	谷川 利昭
	岡本 勝美
	酒井 公平
	笹地 政雄
	近藤 俊征
	長井 伍郎
	中村 伊三美
	大塚 信太郎
	岡田 牧雄
	服部 和則
	田原口 貞忠
	村田 繁実
	八木 善計
	只野 奥宗
	石田 勇
	佐々木 節哉
稲原 一美	
吉田 善伍	
橋本 善吉	
古川 一良	
成田 隆好	
鎌田 昌平	
監事	飯田 義寛
	竹田 春夫

その後、同協会は中央、地方のダート重賞17競走をシリーズ化し、その獲得ポイントによっては最高1億円のボーナスを付与するという「ベスト・オブ・ダートチャンピオン・ボーナス」や、JRAのユニコーンSとジャパンダートダービー、そして岩手のダービーグランプリをすべて勝った馬にボーナスを用意する「4歳馬三冠ボーナス」あるいは当時3競走のみだった交流重賞の帝王賞、オールカマー、ブリーダーズGCを完全制覇した馬への「三冠ボーナス」など生産地の立場から中央地方の垣根を超えたボーナス制度を企画、立案、そして実行してきたが、そんな努力もむなしく地方競馬は1991年（平成3年）、中央競馬は1997年（平成9年）をピークに売り上げが減少の一途。北海道市場も売却率20%台にまで落ち込み競馬サークルは大きな危機に直面していた。そんな折、起死回生の起爆剤の役割を担ったのが棚上げになっていた「JBC競走」だった。皮肉な話だが、仮に馬券売り上げが好調のままだったら、JBC競走は実現しなかったのではないかとさえ思う。

しかし、レース実現に向けての受け止め方は各主催者によってバラバラ。第1回JBC競走を行うにあたって発足したJBC実行委員会には全国地方競馬主催者協議会や地方競馬全国協会なども名を連ねることとなり、当時の同協会は、レースを主催するのは生産地ではなく、各地方自治体にあることを思い知らされることになる。



20年からは2歳カテゴリーもスタート。その第1回目は地元のラッキードリームが優勝している

	月日	開催	入場者	前年比 (%)	総売得金額 (開催当日)	前年比 (%)	JBC競走のみ集計
1	10/31	大井	48,454	-	3,937,661,900	-	2,406,124,100
2	11/4	盛岡	14,287	29.5%	2,184,486,800	55.5%	1,412,749,200
3	11/3	大井	27,027	189.2%	3,629,264,100	166.1%	2,139,868,400
4	11/3	大井	40,576	150.1%	3,636,231,000	100.2%	1,951,622,900
5	11/3	名古屋	19,085	47.0%	1,871,945,700	51.5%	1,406,413,800
6	11/2、3	川崎	38,690	202.7%	3,606,043,100	192.6%	1,497,995,700
7	10/31	大井	28,166	72.8%	2,781,187,400	77.1%	1,597,465,300
8	11/3	園田	22,174	78.7%	2,055,840,900	73.9%	1,504,428,700
9	11/3	名古屋	13,790	62.2%	1,619,756,600	78.8%	1,242,692,600
10	11/3	船橋	30,109	218.3%	2,449,902,400	151.3%	1,545,194,200
11	11/3	大井	33,579	111.5%	3,106,840,000	126.8%	1,993,166,600
12	11/5	川崎	14,797	44.1%	2,692,252,800	86.7%	1,848,560,700
13	11/4	金沢	12,569	84.9%	2,497,469,300	92.8%	2,105,678,900
14	11/3	盛岡	10,331	82.2%	2,925,393,900	117.1%	2,384,030,600
15	11/3	大井	34,153	330.6%	4,849,805,050	165.8%	3,344,751,300
16	11/3	川崎	28,718	84.1%	4,874,022,850	100.5%	3,484,427,300
17	11/3	大井	28,147	98.0%	4,640,685,830	95.2%	3,655,274,500
18	11/4	京都	38,865	138.1%	20,238,507,200	436.1%	15,730,868,600
19	11/4	浦和	29,191	75.2%	5,831,511,430	28.8%	4,555,605,600
20	11/3	大井	777	2.7%	8,352,443,970	143.2%	6,334,470,300
		門別	240	-	1,736,097,980	-	974,898,000
21	11/3	金沢	1,023	131.7%	5,464,260,500	65.4%	5,035,260,500
		門別	667	277.9%	1,780,413,290	102.6%	970,525,800

JBC競走年次別開催成績



札幌競馬場場長
越智 直弘氏
おち なおひろ

札幌馬主協会の皆様方からは、平素より札幌競馬場の運営に格段のご支援・ご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

3月1日付で場長を拝命いたしました越智でございます。平成2年に入会し、主に勝馬投票券発売システムの企画・運用に携わっておりました。直近では、経営企画室長として新型コロナウイルス感染症対策事務局を担当しておりました。馬主の方々の深いご理解とご協力があったからこそ、コロナ禍においても無事に中央競馬の開催を継続できたと感じております。この場をお借りして改めて感謝申し上げます。

北海道地区での勤務経験はございませんが、2015年に、4人一組の新制度となりました生産地研修生として、多くの牧場を訪問させていただきました。当時お世話になった方々に再びお会いできる機会も多いのではないかと楽しみにしております。

ここ2年の札幌競馬は、コロナ禍のため、お客様を十分に迎えることのできない状況での開催となりました。今年は、できるだけコロナ前に近い形で、多くのお客様及び多くの馬主の方々に、馬産地に近い札幌競馬開催をリアルにお楽しみいただけるよう、競馬場職員一丸となって準備に取り組んでいるところでございます。

会員の皆様方におかれましては、平素より格段のご支援をいただいているところではございますが、今後とも引き続き札幌競馬場の運営にご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、札幌馬主協会の益々のご発展及び会員の皆様のご健勝並びに愛馬のご活躍を祈念申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。

平成2年入会、システム統括部トータリゼータ課副長、小倉競馬場お客様事業課長、東京競馬場お客様事業課長、お客様事業部システム統括室トータリゼータ課長、ウインズ部ウインズ事業室担当室長、総合企画部経営企画室長を担当。福岡県生まれ。

JRA札幌競馬場
新任のごあいさつ



副場長
藤沢 流氏
ふじさわ ながる

本年3月の定期人事異動により、お客様部 事業統括室 映像企画課から札幌競馬場に参りました。平成5年に入会した際、最初の配属地が札幌競馬場でしたので、約30年ぶりにこの魅力あふれる競馬場で働くことができようになりましたことに、胸が高鳴っております。ファミリーや若者、女性といったライトな層にも楽しんでいただいている札幌競馬を、会員の皆様からのお力添えを賜りつつ、一生懸命盛り上げて参りますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

平成5年入会、札幌競馬場勤務を最初に、本部 東京競馬場 ウインズ米子、香港駐在員事務所等を経て京都競馬場総務課長補佐、お客様事業部映像情報課長補佐、国際部専門役、コンプライアンス推進室調査役、競走部馬主担当課長、お客様部映像企画課長を担当。愛知県生まれ。



お客様課長
桑原 俊樹氏
くわはら としき

本年3月の定期人事異動で広報部放送メディア課から着任いたしました。競馬に魅せられた者として、生産地に近く競馬の最前線とも感じられる札幌競馬場で勤務できることを大変嬉しく感じています。

依然として新型コロナウイルスの影響は残っていますが、お客様が安心して競馬をお楽しみいただける安全な環境を整え、多くの方にご来場またはご参加いただけるよう札幌競馬の魅力を発信してまいります。精一杯取り組んでまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

平成12年入会、栗東トレーニングセンター、場外調査部、中京競馬場、免許登録部、函館競馬場、広報部、お客様事業部、中央競馬ヒールセンター、阪神競馬場、広報部を歴任。千葉県生まれ。



業務課長
樋口 友也氏
ひぐち ともや

本年3月の定期人事異動で栗東トレーニングセンター厩舎課から着任いたしました。今回2度目の勤務で、前回は平成24年からの3年間、業務課にて旧スタンドの最終開催ならびに新スタンドの開幕開催に携わらせていただきました。また、私生活でも初めての北海道生活ということもあり、公私ともに非常に充実した3年間で、その札幌競馬場に戻ってくることで、大変嬉しく感じています。

現下、未だコロナウイルスの収束する兆しが見えませんが、安定的に競馬開催を実施できるよう十分な準備を整え、さらには馬産地に近い札幌競馬の魅力も発信していけるよう、精一杯取り組んでまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

平成14年入会、審判部、小倉競馬場、東京競馬場、栗東トレーニングセンター、札幌競馬場、競走部、新潟競馬場、栗東トレーニングセンターを歴任。愛知県生まれ。

施設整備課長
鎌倉 雅利氏
かまくら まさとし



本年3月の定期人事異動で、施設整備課建築担当課長から施設整備課長となりました。これまで担当してきた建築のみならず施設全般の担当となります。
令和2年に札幌競馬場に着任以来、毎年、札幌開催の入場形態が異なり、今年も現段階ではどのような形になるのか不透明な状況になりますが、入場される札幌馬主協会の皆様をはじめ、来場される方々が満足していただけるような施設となるよう精一杯業務に取り組んでまいりたいと考えております。
札幌馬主協会の皆さまからのご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

平成18年入会、本部施設部、札幌競馬場、美浦トレーニングセンター、本部施設部、東京競馬場を歴任。奈良県生まれ。

施設整備課担当課長
沼田 洋佑氏
ぬまた ようすけ



本年3月の定期人事異動で、阪神競馬場馬場造園課から札幌競馬場に着任いたしました。
学生時代に競馬の楽しさを覚えた札幌競馬場で勤務することができ、大変嬉しく思います。まずは安全で公正な馬場作りを第一に仕事をしていく所存ですが、花や樹木と芝とのコントラストが美しい札幌競馬場を、ご来場のお客様や関係者の皆様に満喫していただけるような空間づくりにも力を注ぎこみたいと考えておりますので、札幌馬主協会の皆様方からのご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

平成20年入会、本部施設部、美浦トレーニングセンター、中山競馬場、阪神競馬場を歴任。奈良県生まれ。

ウインズ札幌所長
根澤 潔氏
ねざわ きよし



本年3月の定期人事異動で、ウインズ部ウインズ事業室から着任いたしました。
中学時代にスポーツ新聞の一面を飾った日本ダービーに関する記事を読んで以降、競馬に興味を抱き、毎年開催されるダービーを楽しみにしてまいりました。
この度、競走馬の生産地として日本の競馬を支える北海道で勤務できることを大変嬉しく思います。
ウインズ札幌は、アクセスしやすい立地であることや、昨年リニューアルされたばかりの新しく爽やかな施設でございまして、多くのお客様や関係者の皆様にお立ち寄りいただけるような拠点となるよう励んでまいります。
若輩者ではございますが、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

平成11年入会、栗東トレーニングセンター、番組企画部、ウインズ八幡、中山競馬場、システム統括部、ウインズ名古屋、福島競馬場、ウインズ津軽、情報システム部、ウインズ部を歴任。福島県生まれ。

道営だより

文・山田 康文

2年連続で売り上げレコードを記録したホッカイドウ競馬の売り上げがやや伸び悩みを見せている。

前年比3日増の85日間開催を予定している22年シーズンの、25日間が終了した6月23日時点で発売額は150億4489万4120円。昨年、一昨年がともに発売額レコードを記録しており、それらと比べるとは少々気の毒だが、前年対比は93・7%だ。それでも、第3回門別競馬終了の5月19日時点では同83・6%だったから、少しづつではあるが、開幕ダッシュの失敗を取り戻しつつある。

開幕から売り上げが伸び悩んだ原因はひとえに馬の出走頭数不足。同情すべきは登録馬を多く抱えていた調教師の急逝、あるいは引

退などにより、21年は33厩舎だったものが4厩舎減の29厩舎と減少したのだが、これによって4月1日現在の総馬房数は前年比34馬房減の1103馬房となり、同在厩頭数は39頭減の763頭となっていました。とくに影響があったのが番組構成上大きな影響力を持つ、4歳以上馬で同34頭減の239頭。数字に直せば12・5%減となっていました。こうした状況は開幕前から分かっていた事で、主催者側も2歳新馬戦にあたるフ

レッシュチャレンジ競走の1着賞金を200万円から250万円とするなど幅広い競走で賞金を増額したほか、重賞競走における入着手当を新設するなど賞金諸手当を改善して頭数を確保しようとしたが、残念ながら「上に厚い」施策だったために功を奏せず、また他地区との比較では薄いと言わざるを得ない結果となっていました。

改善されつつあるのはJRAの3歳未勝利馬の流入によるもの。来以降は、これらJRA3歳未勝利馬や、JBC協会による「スタリオンシリーズ」や「カウントアップチャレンジ競争」さらに「厩舎スタッフ賞」などの支援に頼るのではなく、それらが上乗せ分として馬主に評価されるくらいの大胆な改革が求められるのかもしれない。

さらに主催者の頭を悩ませているのはジョッキーの高齢化。開幕時点で19人の登録ジョッキー中、今年

中にも45歳以上となるのが約3分の1に相当する6人。このうち4人がすでに50歳台だ。門別競馬場のフルゲートが16頭であること、そしてホッカイドウ競馬がケガの多い初期馴致も兼ねることが多い背景などを考えると、もうすでに危機的状況であるといえる。JBC2歳優駿が、門別競馬場で永続的に行われる保証はどこにもなく、財源が確保されているうちに早急な次の一

■ホッカイドウ競馬開催成績 (25日間終了時点)

年	発売額 (円)	2歳		3歳以上		備考
		レース数	延べ出走頭数	レース数	延べ出走頭数	
2020年	13,673,353,380	73	685	73	685	第6回3日目
2021年	16,051,406,780	66	581	66	581	第6回3日目
2022年	15,044,894,120	63	606	63	606	第5回6日目

■ホッカイドウ競馬2022年重賞日程

月日	競走名	距離	グレード	競走種別	本賞金
4月21日	コスモバルク記念	ダ1800	H2	3歳以上	5,000,000
4月28日	北斗盃	ダ1600	H2	3歳	5,000,000
5月4日	エトワール賞	ダ1200	H3	3歳以上	3,000,000
5月19日	ヒダカソウカップ	ダ1600	H2	3歳以上	5,000,000
6月2日	北海道スプリントC	ダ1200	Jpn3	3歳以上	22,000,000
6月16日	北海優駿	ダ2000	H1	3歳	10,000,000
6月23日	赤レンガ記念	ダ2000	H2	3歳以上	5,000,000
6月28日	栄冠賞	ダ1200	H2	2歳	4,000,000
7月5日	グランシャリオ門別スプリント	ダ1000	H2	3歳以上	5,000,000
7月7日	ノースクイーンカップ	ダ1800	H2	3歳以上	5,000,000
7月14日	フルールカップ	ダ1000	H3	2歳	3,000,000
7月28日	ブリーダーズGJr.C	ダ1700	H1	2歳	6,000,000
7月21日	星雲賞	ダ1600	H2	3歳以上	5,000,000
8月10日	フローラルカップ	ダ1600	H3	2歳	3,000,000
8月11日	ブリーダーズゴールドC	ダ2000	Jpn3	3歳以上	31,000,000
8月16日	王冠賞	ダ1800	H2	3歳	5,000,000
8月24日	サッポロクラシックC	ダ1700	H2	2歳	5,000,000
9月8日	イノセントカップ	ダ1200	H3	2歳	3,000,000
9月15日	旭岳賞	ダ2000	H2	3歳以上	5,000,000
9月21日	リリーカップ	ダ1200	H3	2歳	3,000,000
9月22日	サンライズカップ	ダ1800	H1	2歳	5,000,000
9月29日	ウボボイオータムスプリント	ダ1200	H2	3歳以上	5,000,000
10月4日	プロッサムカップ	ダ1700	H2	2歳	5,000,000
10月13日	瑞穂賞	ダ1800	H2	3歳以上	5,000,000
10月20日	エーデルワイス賞	ダ1200	Jpn3	2歳	20,000,000
11月3日	JBC2歳優駿	ダ1800	Jpn3	2歳	35,000,000
11月9日	道営スプリント	ダ1200	H1	3歳以上	10,000,000
11月10日	道営記念	ダ2000	H1	3歳以上	20,000,000



▽2021年8月22日 札幌競馬場（晴、良）

第11競走 第57回札幌記念（G II、3歳以上 芝2000m、定量）

着順	枠	馬	馬名	性齢	斤量	騎手	厩舎	タイム	人気
1	8	13	ソダシ	牝3	52	吉田隼人	栗・須貝尚介	1.59.5	2
2	4	4	ラヴズオンリーユー	牝5	55	川田将雅	栗・矢作芳人	3/4	1
3	5	7	ペルシアンナイト	牡7	57	横山武史	栗・池江泰寿	頭	8
4	3	3	マイネルウィルトス	牡5	57	団野大成	栗・宮徹	13/4	11
5	8	12	ブラストワンピース	牡6	57	岩田康誠	美・手塚貴久	3/4	3

2019～2021年平均レーティング117.42と確定！

札幌記念レースレーティング

年	1着馬	年間R	2着馬	年間R	3着馬	年間R	4着馬	年間R	ファイナル
2017	サクラアンプルール	114	ナリタハリケーン	113	ヤマカツエース	117	サウンズオブアース	109	113.25
2018	サングレーザー	120	マカヒキ	115	モズカッチャン	116	サウンズオブアース	114	116.25
2019	ブラストワンピース	120	サングレーザー	119	フィエールマン	119	ワグネリアン	117	118.75
2020	ノームコア	121	ペルシアンナイト	115	ラッキーライラック	120	ポンテザール	110	116.50
2021	ソダシ	119	ラヴズオンリーユー	122	ペルシアンナイト	115	マイネルウィルトス	112	117.00

※牝馬のレーティングは4ポンド加算

表1 ステップレースがないG I競走、および札幌記念出走馬の前走レース名

宝塚記念（延べ142頭）				ジャパンカップ（延べ168頭）				有馬記念（延べ160頭）				札幌記念（延べ143頭）			
前走レース名	出走頭数	占有率	勝馬数	前走レース名	出走頭数	占有率	勝馬数	前走レース名	出走頭数	占有率	勝馬数	前走レース名	出走頭数	占有率	勝馬数
天皇賞・春	39	27.5	4	天皇賞・秋	53	31.5	6	ジャパンカップ	56	35.0	2	函館記念	40	28.0	3
鳴尾記念	20	14.1	1	京都大賞典	21	12.5	2	エリザベス女王杯	20	12.5		安田記念	10	7.0	1
大阪杯	17	12.0	2	A r共和国杯	18	10.7		天皇賞・秋	17	10.6	1	優駿牝馬	9	6.3	2
目黒記念H	15	10.6	1	秋華賞	7	4.2	2	金鯱賞	15	9.4		目黒記念	9	6.3	1
ドバイSC	10	7.0	1	凱旋門賞	6	3.6		菊花賞	13	8.1	3	クイーンS	9	6.3	
ヴィクトリアマイル	8	5.6		メルボルンカップ	6	3.6		凱旋門賞	7	4.4	1	エプソムC	5	3.5	
クイーンE II C	6	4.2	1	オールカマー	5	3.0		ステイヤーズS	7	4.4		宝塚記念	4	2.8	
安田記念	5	3.5		バイエルン大賞	5	3.0		A r共和国杯	6	3.8	1	天皇賞・春	4	2.8	
新潟大賞典	3	2.1		菊花賞	4	2.4		福島記念H	4	2.5		大阪杯	4	2.8	
日経賞	2	1.4		カナディアン国際	4	2.4		マイルCh S	3	1.9		鳴尾記念	3	2.1	2
エプソムカップ	2	1.4		その他	39	23.2		チャレンジカップ	3	1.9		東京優駿	3	2.1	1
その他	15	10.6						朝日チャレンジC	2	1.3		札幌日経OP	3	2.1	
								コックスプレート	1	0.6	1	福島テレビ杯	3	2.1	
								その他	6	3.8	9	七夕賞	3	2.1	
												その他	34	23.8	

特集
3

札幌記念G I 昇格への道

～G I競走にトライアル競走は必要か

札幌馬主協会にとって悲願ともいえる札幌記念G I昇格に、最大のネックとなっているのが「トライアル競走」ステップレースの不在と言われている。

ステップ競走とは、目標とするG I競走のおおむね1ヶ月半前に行われるレースで距離やコースなどが目標G I競走と似ている前哨戦のこと。優勝馬、もしくは上位入線馬には優先出走権が付与されているケースが多く、3歳春のクラシックにおいては仕上がりが遅れた素質馬の救済措置的レースであり、また地方競馬所属馬にとっては、その出走を決定する重要なレースだ。それは理解できる。

しかし、いわゆる古馬G I競走の中には、こうした優先出走が認められるステップレースが存在しないものもある。宝塚記念と有馬記念、そしてジャパンカップだ。

この3レースに関して、地方競馬

所属馬は「通算取得賞金」＋「過去1年間の取得賞金」＋「過去2年間のG I競走における取得賞金」の総計が多い順に出走が可能と決められている。ちなみに同様に過去10年間でJRAの芝G I競走に出走した地方競馬所属馬は13年朝日杯におけるプレイアンドリアル（7着）と18年ジャパンカップに出走したハッピーグリーン（7着）の2頭。この年のジャパンカップはフルゲートに満たなかったためにハッピーグリーンは出走が可能となったが、有馬記念では出走を希望したもののそれは叶わなかった。

これら3レース、及び札幌記念の出走馬について、どのレースから挑んできたのかをまとめたのが表①だ。あえて指定レースとなっていないけれども、古馬になればこういった性格のレースから挑んでくるのかは概ね決まっているようだ。

表3 ダービー最終登録馬

優先出走馬	皐月賞	青葉賞	リソバル
ジオグリフ	1		
イクイノックス	2		
ドウデュース	3		
ダノンベルーガ	4		
アスクビクターモア	5		
プラダリア		1	
ロードレゼル		2	
セイウンハーデス			1

取得賞金順	主な成績	取得賞金
マテンロウオリオン	シンザン記念	6200
キラアビリティ	ホープフルS	3900
アスクワイルドモア	弥生賞	3700
ビーアストニッシド	スプリングS	3700
オニャンコポン	京成杯	2900
ピースオブエイト	毎日杯	2900
マテンロウレオ	きさらぎ賞	2400
ジャスティンパレス	ホープフルS 2着	2300
デシエルト	若葉S	2100
コマンドライン	サウジアラビアRC	2000
ジャスティンロック	京都2歳S	2000
ポッドボレット	すみれS	1600
ヴェローナシチー	京都新聞杯 2着	1500
アサヒ	東スポーツ杯 2着	1150

が立たなかった中、長距離馬が皐月賞のあとに組まれていた2000以上の特別競走に勝利して、当時28頭だったフルゲートに潜り込み、そしてダービーで好走するケースも往々にしてあったことから少しずつトライアル競走が整備されてきたのだが、現代は違う。

今回、抽選によって除外された馬は、2歳時に新馬、重賞を連勝し、暮れのホープフルSでは1番人気に支持された美浦所属の馬だった。

年明け初戦はゲートで躓き、関西圏への輸送もあって人気を裏切ってしまったが、ダービー出走へむけて意欲的な追い切りも行っており関係者の心中は察するに余りある。

もちろん、優先出走権を獲得し、夢の舞台へと駒を進めた馬に非があるわけではない、むしろ称賛されるべき話ではあるのだが、中央競馬所属馬にとってトライアル競走、ステツプ競走の存在意義をもう一度立ち返って検証する必要があるのではないかとも思う。

表2 優勝馬にGI競走への優先出走権が付与されるレース

該当GI競走	指定前哨戦	前走が指定前哨戦	
		出走頭数	優勝馬(内連覇)
フェブラリーステークス	東海S	20頭	3頭(3頭)
	根岸S	60頭	4頭(3頭)
高松宮記念	阪急杯	46頭	3頭(2頭)
	オーシャンS	65頭	1頭(0頭)
大阪杯(*過去5回)	中山記念	8頭	1頭(0頭)
	金鯱賞	18頭	2頭(1頭)
天皇賞(春)	阪神大賞典	58頭	3頭(2頭)
	日経賞	51頭	3頭(1頭)
ヴィクトリアマイル	阪神牝馬S	73頭	4頭(0頭)
	福島牝馬S	25頭	0頭(0頭)
安田記念	マイラーズカップ	39頭	1頭(0頭)
	京王杯スプリングカップ	30頭	2頭(0頭)
スプリンターズステークス	キーンランドカップ	43頭	1頭(0頭)
	セントウルS	56頭	6頭(2頭)
天皇賞(秋)	オールカマー	22頭	1頭(1頭)
	毎日王冠	46頭	3頭(0頭)
	京都大賞典	14頭	1頭(1頭)
エリザベス女王杯	府中牝馬S	55頭	5頭(1頭)
マイルチャンピオンシップ	富士S	42頭	2頭(0頭)
	スワンS	39頭	0頭(0頭)
チャンピオンズカップ	みやこS	42頭	1頭(0頭)
	武蔵野S	27頭	1頭(1頭)

これら前哨戦のうち優勝馬には優先出走権が付与されるレースにおける当該GI競走の成績をまとめたのが表2である(2012年〜21年の10年間で集計)。

さすがに前哨戦として指定されているだけあって、すべての指定競走から本番へと挑んでいるが、中にはそのローテーションから1頭の勝ち馬も出せない前哨戦も散見される。

まして、前哨戦に勝って、本番でも連覇となれば、むしろ稀有な例となるものがほとんどだ。ずば抜けて強い馬は別だが、それだけ現代の競馬は、目標を絞らなければGI競走は もちろん、のちにGI競走を勝つような強い馬でも前哨戦を勝つことが容易ではないことが、こうした結果からも読み取れる。

そして、もう1つ、2022年の

ダービーでは出走を希望していた重賞勝ち馬が抽選の結果、出走が叶わなかったという事案が発生した。理由は、18頭フルゲート中8頭に付与される優先出走権がすべて異なる馬だったことと、ダービーに至るまでの世代限定競走で牝馬限定競走、およびダービーの前日に行われる葵Sを除く24競走を21頭の牡馬(外国産馬1頭含む)で分け合ってしまったからだ。

すべての馬が目標とするようなレースに対して、主催者が相応しいと思う馬を選定する作業は公平性という大前提があるので難しい。以前は、といってもかなり昔の話だが、皐月賞の前に2000以上のレースは未勝利戦も含めて存在せず、ダービーの前には2400以上のレースは存在しない時代があった。仕上りの早いスプリンター、マイラーにとって3歳春に目標とするべきレースも組み立てない時代のことである。短い距離ではこれらに歯



令和4年度

札幌開催番組紹介

昨年は東京五輪の一部競技が札幌で行われたために変則開催となったJRA北海道シリーズ。2022年は、通常どおりの日割りに戻り札幌競馬は7月23日に開幕し、9月4日までの2開催14日間。第1回札幌競馬については事前予約が必要ない当日券での入場が可能と発表されています。なお、昨年同様に暑熱対策の観点から7月30日から8月7日までの間は札幌、そして新潟との2場開催となり注目度は高まりそうです。

来年のクラシックを目指す最初の戦い「2歳新馬戦」は最終日を除いて毎日行われ、計13競走が予定されています。内訳は芝コースが11競走で、ダートコースは2競走。2歳未勝利戦は第1回、2回併せて18競走が組まれています。また、2歳オープン競走として「コスモス賞」「クローバー賞」「札幌2歳ステークス」「すずらん賞」の4競走が特別指定競走として行われ、例年同様にレベルの高い競走が期待できそうです。



4戦「札幌記念」は第2回札幌競馬4日目に、そしてサマースプリントシリーズの行方を占う「キーンランドカップ」は第2回札幌競馬6日目に予定されており、最終週に予定されている「札幌2歳ステークス」は、来年のクラ

シックを占う意味でも必見のレースです。

多くのファンならずとも嬉しい知らせはワールドオールスタージョッキーズの再開でしょうか。すでに武豊騎手、C・ルメール騎手、川田将雅騎手、横山武史騎手、柴田善臣騎手、福永祐一騎手、松山弘平騎手のほか、名古屋競馬の岡部誠騎手の参戦が発表されており、今後発表されるであろう外国人騎手など楽しみ以外の何物でもありません。

最後になりましたが、第2回札幌競馬4日目の大通公園特別は「札幌市制100周年記念」競走として行われます。

第1回札幌競馬 7月23日～8月7日

7月23日(土)		
1R	2歳未勝利	芝1800 (混)
2R	3歳未勝利	ダ1700 (混)
3R	3歳未勝利	芝1500 (混)
4R	3歳未勝利	芝1200 (混)
5R	2歳新馬	ダ1700 (混)
6R	3歳未勝利	芝1800 (混)
7R	3歳以上1勝クラス	ダ1000 (混) 定量
8R	3歳以上1勝クラス	芝1200 定量
9R	札幌特別	3歳以上2勝クラス 芝2000 (特指) 定量
10R	大倉山特別	3歳以上1勝クラス 芝1700 (混) (特指) 定量
11R	しらかばステークス	3歳以上3勝クラス 芝1200 (混) (特指) 定量
12R	3歳以上1勝クラス	ダ1700 (混) 定量

7月30日(土)		
1R	2歳未勝利	ダ1000 (混)
2R	3歳未勝利	ダ1700 (混)
3R	3歳未勝利	芝1500 (混)
4R	3歳未勝利	ダ1700 (混)
5R	2歳新馬	芝1500 (混)
6R	3歳未勝利	芝2000 (混)
7R	3歳以上1勝クラス	ダ1700 定量
8R	3歳以上1勝クラス	芝1800 (混) 定量
9R	おおぞら特別	3歳以上2勝クラス 芝1000 (混) 定量
10R	阿寒湖特別	3歳以上2勝クラス 芝2600 (混) (特指) 定量
11R	STV賞	3歳以上3勝クラス 芝1800 (混) (特指) 定量
12R	3歳以上1勝クラス	芝1200 (混) (特指) 定量

8月6日(土)		
1R	2歳未勝利	芝1800 (混)
2R	3歳未勝利	ダ1700 (混)
3R	3歳未勝利	芝1200 (混)
4R	3歳未勝利	ダ1700 (混)
5R	2歳新馬	芝1200 (混)
6R	3歳未勝利	芝2000 (混)
7R	3歳以上1勝クラス	ダ1000 (混) 定量
8R	3歳以上1勝クラス	ダ1700 (混) 定量
9R	北辰特別	3歳以上1勝クラス 芝1800 (特指) 定量
10R	桑園特別	3歳以上2勝クラス 芝1700 (混) ハンデ
11R	札幌日経オープン	3歳以上オープン・L 芝2600 (特指) 別定A
12R	3歳以上1勝クラス	芝1500 (混) 定量

7月24日(日)		
1R	2歳未勝利	芝1200 (混)
2R	3歳未勝利	ダ1700 (混)
3R	3歳未勝利	ダ1000 (混)
4R	3歳未勝利	ダ1700 (混)
5R	2歳新馬	芝1800 (混)
6R	3歳未勝利	芝2000 (混)
7R	3歳以上1勝クラス	ダ1700 定量
8R	3歳以上1勝クラス	芝1800 (混) 定量
9R	HTB賞	3歳以上2勝クラス 芝2000 (混) (特指) 定量
10R	知床特別	3歳以上2勝クラス 芝1200 (混) 定量
11R	報知杯大雪ハンデキャップ	3歳以上3勝クラス 芝1700 (混) ハンデ
12R	3歳以上1勝クラス	芝1500 (混) (特指) 定量

7月31日(日)		
1R	2歳未勝利	芝1500 (混)
2R	3歳未勝利	ダ1000 (混)
3R	3歳未勝利	ダ1700 (混)
4R	3歳未勝利	芝2000 (混)
5R	2歳新馬	芝2000 (混)
6R	3歳以上1勝クラス	ダ1000 (混) 定量
7R	3歳以上1勝クラス	芝2000 定量
8R	3歳以上1勝クラス	ダ1700 (混) (特指) 定量
9R	積丹特別	3歳以上1勝クラス 芝2600 (混) (特指) 定量
10R	札幌道新スポーツ賞	3歳以上2勝クラス 芝1500 (混) ハンデ
11R	北海道新聞杯クイーンS	3歳以上オープン・GIII 芝1800 (混) (特指) 別定
12R	ポプラ特別	3歳以上2勝クラス 芝1700 (混) 定量

8月7日(日)		
1R	2歳未勝利	ダ1700 (混)
2R	3歳未勝利	ダ1000 (混)
3R	3歳未勝利	芝2000 (混)
4R	3歳未勝利	ダ1700 (混)
5R	2歳新馬	芝1800 (混)
6R	3歳未勝利	芝2600 (混) 定量
7R	3歳以上1勝クラス	ダ1700 定量
8R	3歳以上1勝クラス	芝2000 (混) 定量
9R	ライラック賞	3歳以上2勝クラス 芝1800 (混) 定量
10R	HBC賞	3歳以上2勝クラス 芝1200 (混) (特指) 定量
11R	エルムステークス	3歳以上オープン・GIII 芝1700 (混) 別定
12R	3歳以上1勝クラス	芝1200 (混) 定量

第2回札幌競馬 8月13日～9月4日

8月13日(土)		
1R	2歳未勝利	芝1800 (混)
2R	3歳未勝利	ダ1700 (混)
3R	3歳未勝利	ダ1000 (混)
4R	3歳未勝利	ダ1700 (混)
5R	2歳新馬	芝1500 (混)
6R	3歳未勝利	芝2000 (混)
7R	3歳以上1勝クラス	ダ1000 定量
8R	3歳以上1勝クラス	芝2600 (特指) 定量
9R	コスモス賞	2歳オープン 芝1800 (特指) 別定
10R	羊ヶ丘特別	3歳以上2勝クラス 芝1500 (混) (特指) 定量
11R	TVh賞	3歳以上3勝クラス 芝1700 (混) (特指) 定量
12R	3歳以上1勝クラス	芝1200 (混) (特指) 定量

8月20日(土)		
1R	2歳未勝利	芝1800 (混)
2R	2歳未勝利	ダ1700 (混)
3R	3歳未勝利	ダ1700 (混)
4R	3歳未勝利	芝1200 (混)
5R	2歳新馬	芝1500 (混)
6R	3歳未勝利	ダ1700 (混)
7R	3歳未勝利	芝2000 (混)
8R	3歳以上1勝クラス	ダ1000 定量
9R	千歳特別	3歳以上1勝クラス 芝1500 (特指) 定量
10R	富良野特別	3歳以上1勝クラス 芝2000 (混) (特指) 定量
11R	札幌日刊スポーツ杯	3歳以上2勝クラス 芝2600 (混) ハンデ
12R	3歳以上1勝クラス	ダ1700 (混) 定量

8月27日(土)		
1R	2歳未勝利	芝1800 (混)
2R	2歳未勝利	芝1200 (混)
3R	3歳未勝利	ダ1000 (混)
4R	3歳未勝利	ダ1700 (混)
5R	2歳新馬	ダ1700 (混)
6R	3歳未勝利	芝1500 (混)
7R	3歳以上1勝クラス	芝1800 定量
8R	3歳以上1勝クラス	ダ1700 (混) 定量
9R	ルスツ特別	3歳以上1勝クラス 芝2600 (混) 定量
10R	2022ワールドオールスター	3歳以上2勝クラス 芝1200 (混) 定量
11R	2022ワールドオールスター	3歳以上3勝クラス 芝2000 (混) 定量
12R	ニセコ特別	3歳以上1勝クラス 芝1700 定量

9月3日(土)		
1R	2歳未勝利	芝1200 (混)
2R	2歳未勝利	ダ1700 (混)
3R	3歳未勝利	ダ1700 (混)
4R	3歳未勝利	芝2000 (混)
5R	2歳新馬	芝1500 (混)
6R	3歳以上1勝クラス	ダ1000 定量
7R	3歳以上1勝クラス	芝2000 (混) (特指) 定量
8R	3歳以上1勝クラス	ダ1700 (混) 定量
9R	札幌スポニチ賞	3歳以上2勝クラス 芝1200 (混) 定量
10R	日高ステークス	3歳以上2勝クラス 芝1500 (混) 定量
11R	札幌2歳ステークス	2歳オープン・GIII 芝1800 (特指) 定量
12R	3歳以上1勝クラス	ダ1700 定量

8月14日(日)		
1R	2歳未勝利	芝1200 (混)
2R	3歳未勝利	ダ2400 (混)
3R	3歳未勝利	ダ1700 (混)
4R	3歳未勝利	芝1500 (混)
5R	2歳新馬	芝1800 (混)
6R	3歳以上1勝クラス	ダ1700 (混) (特指) 定量
7R	3歳以上1勝クラス	芝1500 (混) 定量
8R	3歳以上1勝クラス	ダ1700 定量
9R	石狩特別	3歳以上1勝クラス 芝1800 (混) 定量
10R	藻岩山特別	3歳以上2勝クラス 芝2000 (混) (特指) 定量
11R	UHB賞	3歳以上オープン 芝1200 (特指) ハンデ
12R	3歳以上2勝クラス	ダ1000 (混) 定量

8月21日(日)		
1R	2歳未勝利	芝1500 (混)
2R	3歳未勝利	ダ1000 (混)
3R	3歳未勝利	ダ1700 (混)
4R	3歳未勝利	芝2600 (混)
5R	2歳新馬	芝2000 (混)
6R	3歳以上1勝クラス	ダ2400 (混) (特指) 定量
7R	3歳以上1勝クラス	ダ1700 定量
8R	3歳以上1勝クラス	芝2000 (混) 定量
9R	クローバー賞	2歳オープン 芝1500 (特指) 別定
10R	大通公園特別	3歳以上2勝クラス 芝1700 (混) (特指) 定量
11R	札幌記念	3歳以上オープン・GII 芝2000 (特指) 定量
12R	手稲山特別	3歳以上2勝クラス 芝1200 (混) 定量

8月28日(日)		
1R	2歳未勝利	芝1500 (混)
2R	3歳未勝利	ダ1700 (混)
3R	3歳未勝利	ダ1000 (混)
4R	3歳未勝利	ダ1700 (混)
5R	2歳新馬	芝1800 (混)
6R	3歳未勝利	芝2000 (混)
7R	3歳以上1勝クラス	ダ1000 (混) 定量
8R	3歳以上1勝クラス	芝1500 (混) 定量
9R	小樽特別	3歳以上1勝クラス 芝1200 (混) 定量
10R	2022ワールドオールスター	3歳以上2勝クラス 芝1700 (混) 定量
11R	キーンランドカップ	3歳以上オープン・GIII 芝1200 (混) 別定
12R	2022ワールドオールスター	3歳以上2勝クラス 芝1800 (混) 定量

9月4日(日)		
1R	2歳未勝利	芝2000 (混)
2R	2歳未勝利	芝1500 (混)
3R	3歳未勝利	ダ1700 (混)
4R	3歳未勝利	芝1200 (混)
5R	3歳未勝利	ダ1700 (混)
6R	3歳以上1勝クラス	芝1200 (混) 定量
7R	3歳以上1勝クラス	芝1800 定量
8R	3歳以上1勝クラス	ダ1700 (混) 定量
9R	すずらん賞	2歳オープン 芝1200 (特指) 別定
10R	釧路湿原特別	3歳以上2勝クラス 芝2000 (混) 定量
11R	丹頂ステークス	3歳以上オープン 芝2600 (特指) ハンデ
12R	3歳以上2勝クラス	ダ1700 (混) 定量

入会者



片山 寿郎氏
新ひだか町



松本 有啓氏
札幌市



山田 弘氏
東京都



小笹 芳央氏
東京都



藤川 靖仁氏
新ひだか町



橋本 善太氏
安平町

個人へ変更



土井 久美子氏
(旧法人名 錦岡牧場)

退会者

次の方が退会されました。
在籍中のご協力に感謝します。

大宮 豊美氏

富樫 アキ子氏

おくやみ



野島 春男氏
(令和四年六月八日逝去)

北海道の短い夏が過ぎれば、牧場には悲しい別れの季節が訪れます。

それまで心配するお母さんのことなど、まるで気にもしない様子で仲間たちと遊んでいた仔馬も、いざ別れの儀式が始まれば、声も枯れんばかりに母親を呼び続け、その声を聞いた母親は溺愛する自分の子供を探し続けます。

そんな光景が、一晩中続くことも珍しくありません。

いつかは、だれもが通らなければならぬ道。

でもそれは競走馬として、自立するための第一歩でもあるのです。

だから、今はしっかりと、その体の中に流れる母仔の絆を確かめるとき。記憶の中に残るお母さんの面影は、きつと大きな武器となるはずだから。

編集後記

- 「北の蹄跡」第70号をお届けいたします。
一昨年初より流行している新型コロナウイルス感染症は、依然として感染が収まる兆候が見られない状況ですが、アフターコロナに向けた動きが進んでおり、競馬場入場も通常に戻りつつあります。
そのような状況下の中、中央競馬は1日も中止されることなく開催され、売り上げも好調な状況が続いております。
ここに、日本中央競馬会、美浦・栗東トレーニングセンター、調教師・騎手、競走馬を運搬に従事する皆様ほか生産者など関係各位の感染対策の意識の高さとご努力のたまものであります。この場をお借りし深く感謝するとともに、代表してお礼申し上げます。
- 今号の表紙写真は札幌競馬開催初日の入場ゲート風景です。
- 今号の特集は、特集①として、「札幌競馬場で北海道トレーニングセール開催」、特集②「ジャパンブリーダーズ協会のあゆみ」、特集③は、継続要望の「札幌記念G1昇格の道」の3つをお送りいたします。
- 委員会において、本年1年かけて、今後ホームページ活用をテーマに、会報発行を年1回リアルタイムな情報発信がおこなえるかなど協議を進めてまいります。まずは、ホームページに、パスワード管理された会員ページを制作し、そこに会報掲載の「会員勝ち馬紹介「WINNERS」」などを掲載移行する準備をいたします。
- 編集にあたっては、「会員の皆様に親しまれ、馬主活動に役立てられる情報」との観点や新しい視点で、会員目線に立った会報づくりに務めてまいりますので、ご意見ご要望をお寄せいただくなど引き続き会員の皆様のご協力をお願いいたします。

◆札幌馬主協会ホームページについて

当協会のホームページを立ち上げて7年目を迎えます。
会員の皆様にさまざまな情報提供ができるよう、少しずつ内容の充実に努めますので、ご意見等を事務局までお寄せください。

アドレス <http://www.sapporo-rho.jp>

(総務・広報委員会)

総務・広報委員会	委員長	木村 貢
	副委員長	吉澤克己
	委員	藤原俊哉
	委員	下河辺隆行
	委員	岡田隆寛

事務局から

- 今年の札幌開催は、例年通り7月23日(土)～9月4日(日)までの14日間で、入場制限なしの有観客開催と発表がされております。
- 馬主エリアへの入場いただける人数は馬主席総数の概ね75%となりますことから、通常開催日は「出走馬主本人とご同伴3名(家族章着用者2名必須含む)、重賞競走施行日は「出走馬主本人+ご家族2名まで(家族章着用必須)」と「未出走馬主、共有馬主本人+ご家族2名(家族章着用必須)」との運用となります。詳しくは別送の開催案内をご覧ください。
また、本年より3年ぶりに感染対策を行いながらピュッフェによる食事の提供をおこないます。まだコロナ前の生活には完全に戻っていませんが、ご来場いただいた皆様に安心して楽しんでいただけるよう、感染対策を講じお待ちしております。
- 他場の馬主席の手配などについて、ご不明な点、ご意見などはお気軽に事務局にご連絡いただけますとともに、札幌競馬場にお越しの際は事務所にお立ち寄りくださいますようお願いいたします。(佐藤、嶋田、水上)

「北の蹄跡」(通巻第70号)

2022年8月1日発行
発行：一般社団法人 札幌馬主協会
編集発行人：岡田牧雄
〒060-0016
札幌市中央区北16条西16丁目1-1
TEL 011(726)0461

企画・編集：(株)北海道新聞Hot Media
馬事通信編集部

表紙・札幌競馬場
写真提供：JRA、NAR
本誌掲載の写真および記事等の無断転載を禁じます